

消冷手粮



日南市消防出初式

宮崎県 日南市消防本部

(令和2年刊行)



日南市の概要

位 置

日南市は、宮崎県の南部に位置し、東に日向灘を臨み西は都城市・三股町、南は串間市、北は宮崎市に隣接しています。宮崎市から日南市を経て鹿児島県に至る延長112km は全国有数のリアス式海岸で、日南海岸国定公園の指定を受けています。

面 積

総面積 536.11 平方キロメートル 面積の約78パーセントが山林等です。



気 象

平均気温 18.8 度

年間を通じ温暖な気候です。

年間降水量 3,210ミリ

本市の気象は、太陽と海、みどりの山々に象徴されるように温暖多照の気候条件です。平野部では一年の日照時間が平均 2,200 時間以上と多く、南海型気候区に属する高知県・紀伊半島南部などとともに日本で最も日照に恵まれた地域の一つであり、温暖な地帯に属しています。特に冬季の日照時間は大変長く、冬型気圧配置で山沿いが曇っていても平野部は晴れている場合が多くなります。一方で鰐塚山系を含む本市は、多雨地域で、四国の太平洋岸、紀伊半島の東部とともに日本の最多雨地帯となっています。



★ 総 括 ★

1	市勢・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
2	地域の発展・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
3	市街地の形成・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
4	現有消防力と人口・世帯・面積・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2
5	消防の沿革・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3
	(1) 旧日南市・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3
	(2) 旧北郷町・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	. 3
	(3) 旧南郷町・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	. 4
	(4) 新日南市・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	. 6
6	消防本部・消防署・出張所の位置・構造・・・・・・・・・・・・・・・・・	2 0
7	歴代消防長・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2 0
8	日南市歴代消防団長・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2 0
9	旧北郷町歴代消防団長・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2 1
10	旧南郷町歴代消防団長・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2 1
	★ 組 織 ★	
1	消防力の整備指針と当市の現況・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
2	消防本部・消防署の組織・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
3	消防本部・消防署の事務分掌・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
4	消防団の組織・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
5	消防職員の配置・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
6	消防職員の勤続年数・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
7	消防職員の年齢・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
8	消防職員の特殊技能資格取得状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
9	消防団員の年齢別構成・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3 (
10	消防団員の定数と実員・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3
0		
11	消防団員報酬・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3 1
	★ 予 算 ★	
1	令和2年度消防予算の対前年比・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
2	一般会計に対する消防費の比率(当初予算)・・・・・・・・・・・・・・・・・	3
3	消防費に対する人口及び世帯の負担比較・・・・・・・・・・・・・・・・・	3

★ 救急・救助 ★

1	令和元年中の救急概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3 4
2	令和元年月別救急出動状況・・・・・・・・・・・・・・・・・35
	(1) 管内全体・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3 5
	(2) 本署管内・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3 6
	(3) 北郷出張所管内・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3 6
	(4) 南郷出張所管内・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・36
3	平成21年以降の救急出動件数・搬送人員数・・・・・・・・・・・・ 37
4	時間別事故種別出動件数・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・38
5	時間別事故種別搬送人員数・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・38
6	収容所要時間別搬送人員数・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3 9
7	事故種別傷病程度別搬送人員数・・・・・・・・・・・・・・・・・・・39
8	事故種別医療機関別搬送人員数・・・・・・・・・・・・・・・・・・40
9	管内救急告示病院一覧・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4 0
10	救急隊員の行った応急処置件数・・・・・・・・・・・・・・・・ 4 1
11	事故種別年齢区分搬送人員数・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4 2
12	年齢区分別傷病程度別搬送人員数・・・・・・・・・・・・・・・・ 4 2
13	現場到着所要時間別出場件数・・・・・・・・・・・・・・・・・43
14	事故種別不搬送理由別不搬送件数・・・・・・・・・・・・・・・ 4 3
15	事故種別転送回数別搬送人員数・・・・・・・・・・・・・・・ 4 4
16	傷病程度別転送回数別搬送人員数・・・・・・・・・・・・・・・4 4
17	令和元年中の救助業務概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4 5
18	事故種別救助活動状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4 6
19	管轄別救助活動件数・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4 6
	→ 浴です。大後大武 →
	★ 消防水利・機械 ★
1	消防水利施設・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4 7
2	常備消防・機械性能一覧・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5 0
3	機械器具配置状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5 1
4	非常備消防車両・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5 2
5	日南市消防・防災無線サイレン制御受信筒所・・・・・・・・・・・ 5.4

★ 火災 ★

1	令和元年年中の火災概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5 6
2	令和元年月別火災発生状況・・・・・・・・・・・・・・・・ 5 7
3	令和元年火災発生記録・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5 8
4	時間別出火件数・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5 9
5	過去5年間別火災発生件数・・・・・・・・・・・・・・・・・・55
6	平成14年以降の1,000万円以上の損害を出した火災・・・・・・・・・60
7	平成9年以降地区別出火状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6 1
8	平成 13 年以降死者を出した火災・・・・・・・・・・・・・・・・ 6 2
9	過去5年間の原因別出火件数と損害額・・・・・・・・・・・・・・・63
10	過去5年間の林野火災・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・63
	★ 危険物 ★
1	令和元年度の危険物関係及び防火対象物の概要・・・・・・・・・・・・・・64
2	危険物施設状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 65
3	危険物類別状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6 €
4	危険物数量別施設数・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6 7
5	危険物施設の許可申請等処理状況・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6 8
6	危険物規制事務処理状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6 9
7	危険物手数料徴収状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7 (
	★ 予 防 ★
1	防火対象物状況
	(消防用設備等及び防火管理者を要する対象物)・・・・・・・・・・71
2	令和元年度予防関係諸届出状況 ・・・・・・・・・・・・・・・ 7 2
3	令和元年度月別工事別建築申請処理状況・・・・・・・・・・・・・・ 7 3
4	令和元年度用途別建築申請処理状況表・・・・・・・・・・・・ 7 4
5	防火対象物の階層別状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 75
6	日南市幼年少年防火クラブ結成状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・76

総 括

1 市 勢

日南市は、宮崎県の南部に位置し、宮崎市、三股町、都城市、串間市に隣接、地域の東側は日向灘に面し、その海岸線は「日南海岸国定公園」に属しています。

一方、北西部の山地には、標高 1,000m級の小松山や男鈴山などを有し、本地域の8割弱が林野で、そのほとんどが飫肥杉などの人工林で占められています。

日南地方はその昔、平安朝時代藤原荘園として開拓された地方で日向八院の一つである飫肥院のあったところと伝えられています。建久元年、工藤祐経が日向地頭職に任ぜられてから、飫肥城をめぐり、伊東、島津の争いが続きましたが、豊臣秀吉の九州征伐後はついに伊東家の居城となり、五万一千石飫肥藩として広い領域を統治しました。

昭和25年1月1日、近隣の飫肥、吾田、油津、東郷の4町村が大同団結し市制を施行しました。その後2回に亘る隣接町村の合併によって、「日南市」の体制が完備され、平成21年3月30日、日南市、北郷町、南郷町の三市町による新設合併が行われました。風光明媚な日南海岸国定公園の港町「油津」、山紫水明の城下町「飫肥」、大自然に囲まれた、緑と清流と温泉の町「北郷」、豊かな大自然と触れ合い、カツオー本釣りの港町「南郷」を観光拠点として「緑と黒潮が育む産業・文化・交流都市」をキャッチフレーズとして躍進が期待されています。

2 地域の発展

(推計人口)

事 項	年 月 日	合併区域	面積(k㎡)	人口 (人)	1 k ㎡当人口
市制施行	昭和 25. 1. 1	_	98	41, 238	421
第1次合併	昭和 30. 2.11	細田町鵜戸村編入 合併	191 (93)	57, 020	299
第2次合併	昭和 31. 4. 1	酒谷村榎原村大窪 地区編入合併	295 (104)	63, 083	214
第3次合併	平成 21. 3.30	日南市、北郷町、南 郷町新設合併	536. 11	57, 930	108
現在	令和 2. 4. 1	_	536. 11	50, 418	94

)は合併地域の面積

3 市街地の形成

本市は、国道222号線に沿って、東西に帯状の市街地を形成しています。

東は遠洋漁業の拠点である油津港を中心に海運関連企業と商業の街区で、西は飫肥城を中核とする歴史と文化の街となっており、昭和52年、国の重要伝統的建造物群保存地区の選定を受け、小京都のイメージを今日に伝え、静かな観光ブームを迎えています。中央部は王子製紙日南工場及び傘下工場と官公庁が集中し、住宅も密集傾向にあり、日南市の中心になっています。

当市は、「創客創人」という言葉をまちづくりのコンセプトとして、総合計画である日南市重点戦略プランを掲げ、人づくりこそがまちづくりであるとの考えのもと、人財(材)育成を推進しています。

4 現有消防力と人口・世帯・面積

令和2年4月1日現在

	人	員			車 両											
	定数	実員	水槽付消防ポンプ車	消防ポンプ車	水槽車	積載車	救急車	救助工作車	化学車	指揮車	火災調査車	資機材輸送車	防災学習車	救急普及啓発車	連絡車	予備車
消防本部	86	85	※ 3	2	1		4	1	1	1	1	1		1	1	1
消防団	1,080	1,062	1	12		36							1			1

※化学車に代えて配置する泡放出装置を備えた消防ポンプ自動車を含む。(日南南タンク6)

令和2年4月1日現在

	面 積 (単位:k㎡)	人 口 (単位:人)	世 帯 (単位:戸)
日南市	536. 11	50, 418	22, 122

(推計人口による)

5 消防の沿革

(1) <旧日南市>

昭和25年 1月 ・日南市制施行 日南市消防団発足

分 団 部	団員数	消 防 ポンプ車	自動三輪ポンプ車	手動動力ポンプ	腕 用 ポンプ
4 分団 25 部	1,529名	4台	1台	5台	14 台

3月 ・消防本部を設置

昭和27年 8月 ・日南消防署(油津地区)発足 署員 15名 消防ポンプ自動車1台を配備

昭和29年 4月 ・今町大火災により42棟全焼

昭和30年 2月 ・細田町、鵜戸村合併

分	団 部	団員数	消 防 ポンプ車	自動三輪ポンプ車	手動動力ポンプ	小 型 ポンプ
	6 分団	1,317名	11 台	1台	6 台	19 台

昭和31年 4月 · 酒谷村、榎原村大窪地区合併

分団部	団員数	消 防 ポンプ車	自動三輪ポンプ車	手 引 ポンプ	小 型 ポンプ	積載車
7 分団 38 部	1,460名	12 台	11 台	6台	19 台	3 台

昭和32年 8月 ・水槽付消防ポンプ車1台(日南消防署)を配備

10月 ・消防専用電話(消防本部、日南消防署、日南市飫肥出張所間)を架設

昭和33年 2月 ・日本消防協会より優良消防団として団旗「竿頭綬(かんとうじゅ)」を拝受

3月 ・消防無線基地局(5W)、移動局1基を新設

10月 ・飫肥消防署発足、署員15名、水槽付消防ポンプ車、消防ポンプ車1台を配置

・日南消防署を油津消防署に改称

分団部	団員数	消 防 ポンプ車	手 引 ポンプ	小 型 ポンプ	積 載	車
7 分団 36 部	1,370名	12 台	3台	24 台		5 台

昭和34年

・市内7か所に防火推進モデル地区を設定し、火災予防の徹底を期す

昭和35年 5月 ・チリ地震による津波襲来

昭和36年 2月 ・日向灘地震(震度5)発生

4月 ・年次計画による鉄製ホース干台建設に着手

10月 ・水槽付消防ポンプ車(油津消防署)を更新

昭和38年10月 ・消防吏員4名増員、署の編成を小隊、分隊組織(総員41名)に改組

11月 ・日本損害保険協会より消防ポンプ車1台(油津消防署)を受贈

・消防団員の定員 1,370 名から 1,216 名に改正

昭和39年 9月 ・9月24日、台風20号が来襲し、消防施設災害復旧のため予備費充用

12月・指揮車兼救急車(消防本部)を配備

昭和40年 1月 • 救急業務開始

昭和42年 3月 ・ 救急車(国庫補助:日南ロータリークラブより資金の一部を受贈)を配備 昼間は消防本部、夜間は油津消防署での運用

•消防団拠点施設(東郷分団第5部)竣工

昭和43年 3月 ・日本消防協会から優良消防団として表彰旗を拝受

昭和44年 7月・5 t 水槽車(飫肥消防署)を配備

・消防無線基地と移動局3基を設置

11月 ・星倉水防倉庫を市役所内に移転新築し、中央水防倉庫と改称

昭和45年・消防無線移動局(指揮車)を設置

昭和46年 1月 ・永年日南市消防団長として、その重責を全うされていた竹田末義氏が1月 11日に永眠され、その功を労い、正六位勲五等双光旭日章を贈り、日南市 消防団葬をもって冥福を祈る

11月 ・複雑化する火災に対処するため耐熱服、空気呼吸器、高発泡器を配備

12月 ・消防庁舎建設予定地として、日南市中央通りに1,538 ㎡を購入

・年次計画による鉄製ホース干台の設置が本年度達成

昭和47年 4月 ・消防署員4名を増員し、条例定数を45名に改正

昭和48年 3月 ・中央通り一丁目1-9に消防庁舎竣工

・1 本部、1 署、2 出張所とし、消防本部を 4 課(総務課・警防課・予防課・機械課)体制に改編

・消防職員4名増員、条例定数を49名に改正

•油津出張所竣工

6月 ・農協共済より救急車1台を受贈

12月 · 消防団拠点施設(飫肥分団第2部)竣工

昭和49年 7月 ・無線移動局(消防署全車両)を設置

市町村単独周波数に変更

11月 ・建物の高層化と災害の複雑化に対処するため救助隊を編成

•消防団拠点施設(飫肥分団第4部)竣工

昭和50年 4月 ・消防団組織(36カ部→35カ部、団員数1,032名→798名)を改編

・細田分団第1部、第2部を統合 ※細田分団第2部の名称が消滅

- 昭和51年 3月 ・治水ダム建設に伴い、消防団拠点施設(酒谷分団第3部)移転竣工
 - ・消防団拠点施設(細田分団7部)竣工
 - ・消防署訓練用地として 367 m²を購入
 - 4月 ・毎月19日を「市民消防の日」と制定し、21時にサイレン吹鳴を開始
 - 9月 ・日本船舶振興会より小型動力ポンプ付積載車1台を受贈
- 昭和52年 3月 ·消防署飫肥出張所(新築)竣工
 - •消防団拠点施設(酒谷分団第1部)竣工
 - 5月 · 10t 水槽車(消防署:2号車)を配備
 - 9月 ・消防ポンプ自動車(東郷分団第5部)を配備
 - 12月 · 中央水防倉庫(消防本部2F)竣工
- 昭和53年 1月 ・小型動力ポンプ積載車(酒谷分団第3部)を配備
 - 3月・油津分団(3カ部を統合)格納庫を増築竣工
 - 7月・指揮車(消防本部)を配備
 - 11月 ・水槽付消防ポンプ自動車(油津出張所)を配備
 - ・40 ㎡防火水槽2基(宮ノ前、風田:国庫補助)を設置
- 昭和54年 2月 ・救急車(消防署:国庫補助)を配備
 - •消防団拠点施設(細田分団第5部、7部)竣工
 - ・小型動力ポンプ付積載車(飫肥分団第5部、吾田分団第5部、東郷分団第2部)を配備
 - 12月 ・小型動力ポンプ付積載車(東郷分団第3部、細田分団第4部)を配備
 - ・消防ポンプ自動車(消防署:3号車)を更新
- 昭和55年 1月 ・消防救急指令装置C型を導入
 - 3月 · 消防団拠点施設(酒谷分団第2部、鵜戸分団第3部)竣工
 - ・20 ㎡防火水槽2基(上隈谷、中ノ八重)を設置
 - 4月 ・油津分団(3 カ部→2 カ部)、鵜戸分団(5 カ部→3 部)、東郷分団(7 カ部→4 カ部)を改編
 - ・7カ分団本部の団員を班長に改組
 - 9月・小型動力ポンプ付積載車(飫肥分団第4部、鵜戸分団第1部、東郷分団 第1部)を配備
 - 12月・小型動力ポンプ(吾田分団第5部、細田分団第3部)を配備
- 昭和56年 2月 ・40 ㎡防火水槽2基(東郷平山、鵜戸宮浦)を設置
 - ・消防団拠点施設(東郷分団第4部、鵜戸分団第2部)竣工
 - 5月 · 油津銀天街大火災(24店舗全半焼)発生
 - 7月 ・消防団拠点施設(東郷分団第2部)竣工
 - 11月 ・消防ポンプ自動車(細田分団第1部)を配備
 - ・小型動力ポンプ(細田分団第5部、鵜戸分団第1部)を配備
 - ・小型動力ポンプ付積載車(飫肥分団第2部、吾田分団第4部)を配備
- 昭和57年 3月 · 消防団拠点施設(酒谷分団第4部)竣工

- 4月 ・日南市と南郷町の消防事務委託による広域消防を発足
 - ・県農協共済連より救急車1台を受贈
 - ・消防吏員4名採用
- 6月・条例定数を61名に改正
- 8月・小型動力ポンプ(東郷分団第2部、酒谷分団第4部)を配備
- 9月 ・救助資機材搬送車(消防署:日本消防協会より受贈)を配備
 - ・40 m³地下式防火水槽(飫肥今町住宅内)を設置
- 10月 ・小型動力ポンプ付積載車(細田分団第7部)を配備
- 11月 ・消防ポンプ自動車(吾田分団第2部)を配備
- 12月 · 消防団拠点施設(細田分団第4部、鵜戸分団第4部)竣工
- 昭和58年 1月 ・20㎡地下式防火水槽3基(飫肥瀬田尾、細田東下中、酒谷秋山)を設置
 - 2月 ・小型動力ポンプ付積載車(酒谷分団第2部)を配備
 - •消防団拠点施設(細田分団第3部)竣工
 - 3月・救助技術訓練施設(消防署)を増設
 - 9月 · 消防団拠点施設(飫肥分団第2部)竣工
 - 11月 ・小型動力ポンプ付積載車(吾田分団第1部)を配備
 - ・40 m³地下式防火水槽(酒谷桜馬場)を設置
 - ・自治体消防35周年記念大会(日本武道館)正副団長、分団長10名出席
 - ・小型動力ポンプ(東郷分団第1部、細田分団第4部)を配備
- 昭和59年 1月 ・小型動力ポンプ付積載車(鵜戸分団第4部)を配備
 - 2月 · 消防団拠点施設(細田分団第6部)竣工
 - ・20 m³地下式防火水槽 3 基(飫肥倉掛、吾田後河内、鵜戸富土)を設置
 - 3月 ・消防ポンプ自動車(油津分団第2部)を配備
 - ・消防団拠点施設(東郷分団第3部)竣工
 - ・消防庁舎別棟(2 階建て:延べ面積 320 m²)竣工
 - 5月 ・油津西町埋立地にて宮崎県総合防災訓練を実施
 - 9月・14日、宮崎県消防繰法大会(小型ポンプの部) 「飫肥分団第2部準優勝」
 - ・40 m³地下式防火水槽(油津西町)を設置
 - 11月 ・小型動力ポンプ付積載車(吾田分団第6部、鵜戸分団第2部)を配備
 - ・水槽付消防ポンプ車Ⅱ型(消防署)を配備
 - 12月 ・小型動力ポンプ B3級(吾田分団第1部、消防署)を配備
- 昭和60年 2月 ·消防団拠点施設(飫肥分団第3部、吾田分団第4部、東郷分団第5部)竣工
 - ・消防無線局(基地局、滝ケ平中継局、サイレン無線制御装置2カ所)竣工
 - ・20 ㎡地下式防火水槽3基(酒谷鯛ノ子、飫肥原ノ迫、細田下方)を設置
 - 3月 ・小型動力ポンプ B3級(東郷分団第3部、飫肥分団第2部)を配備
 - 4月 · 消防訓練場用地(西弁分 1,781 ㎡: 換地 1,178 ㎡) 取得
 - 8月 ・消防庁舎冷暖房設備竣工

- ・小型動力ポンプ(鵜戸分団第4部)を配備
- 9月 ・消防大学校救助科(1名)入校
 - ・油津西町にて南那珂支部消防操法大会(ポンプ車の部)を実施 「飫肥1部優勝」
- 10月 ・小型動力ポンプ付積載車(酒谷分団第4部)を配備
 - ・消防ポンプ自動車 BD- I 型(飫肥分団第3部)を配備
- 11月 ・小型動力ポンプ付10t水槽車(消防署)を配備
 - 消防訓練場用地取得

西弁分 1,011 ㎡×4 筆 4,044 ㎡ : 換地 1,178 ㎡、2,860 ㎡

- 12月 ・飫肥公民館、新町河原にて移動消防学校機関科を開校
 - ・消防団拠点施設(吾田分団第3部:木造二階建て)竣工
 - ・小型動力ポンプ B3 級(酒谷分団第2部)を配備
- 昭和61年 1月 · 消防訓練場用地(西弁分3筆2,694 m²:換地1,985 m²)取得
 - ・サイレン無線制御装置(市内9カ所)完成
 - 2月・20 ㎡地下式防火水槽3基(山王、殿所、大窪)を設置
 - 3月・小型動力ポンプ付積載車(細田分団第5部)を設置
 - 4月 ・救急車(農協共済連より受贈)を配備
 - 7月 ・可搬式散水装置(消防署:1セット50個)を設置
 - ·細田水防倉庫(細田分団第3部裏)竣工
 - ・消防無線受令機(消防団車両:3セット60個)を設置
 - 8月・40 ㎡地下式防火水槽(油津瀬西)を設置
 - 9月 ・東郷分団第1部、飫肥出張所を改築
 - 10月 ・小型動力ポンプ付積載車(細田分団第3部、第6部)を配備
 - 11月・小型動力ポンプ(飫肥分団第4部、第5部)を配備
 - ・消防ポンプ自動車 BD- I 型(油津分団第1部)を配備
 - 12月・消防団拠点施設敷地(吾田分団第2部:162㎡)を購入
- 昭和62年 2月 ・消防団拠点施設(吾田分団第2部)竣工
 - ・20 m³地下式防火水槽 3 基(福谷、吹毛井、上白木俣)を設置
 - ・障害突破用訓練塔(消防署)を増設竣工
 - 3月・ホース干台(酒谷分団第4部)を移転
 - ・「竿頭綬(かんとうじゅ)」消防庁長官表彰
 - 4月 ・吾田分団第2部と第5部を統合、7カ分団31カ部に改編
 - 9月 · 40 m 防火水槽(前鶴)を設置
 - 10月 ・消防ポンプ自動車(飫肥分団第1部)を配備
 - 12月 ・救助工作車(消防署)を配備
- 昭和63年 3月 ・40 m 防火水槽3基(上隈谷、益安、伊比井)を設置
 - 9月 ・消防団拠点施設敷地(吾田分団第1部)を購入
 - 11月 ・水槽付消防ポンプ自動車Ⅱ型(飫肥出張所)を配備

- ・小型動力ポンプ付積載車(東郷分団第2部)を配備
- ・指揮車(消防本部)を配備
- 12月 · 消防団拠点施設(鵜戸分団第2部)増築
 - ・40 m 防火水槽(松原団地)を設置
 - ・20 ㎡防火水槽3基(宿ノ河内、向田、甲東)を設置
- 平成 元年 3月 · 消防団拠点施設(吾田分団第1部)竣工
 - 4月 ・吾田分団第1部と第6部を統合、7カ分団30カ部に改編
 - 7月 ・27 日深夜から 28 日未明に来襲した台風 11 号は、近年稀に見る大洪水となり、各河川はことごとく決壊、氾濫し、流域住宅の避難勧告の発動となった。1,800 名の避難にもかかわらず、職、団員の懸命な活動により、1 名の人的被害を見なかったことは、高く評価され、住民の称賛するところであり、その功績を認められ宮崎県知事表彰を受賞
 - 10月 · 40 m³防火水槽(向原)を設置
 - ・20 m³防火水槽3基(松永、隈谷、小布瀬)を設置
 - 11月 ・消防ポンプ自動車 BD-I型(鵜戸分団第3部)、小型動力ポンプ付積載車(飫肥分団第5部)、小型動力ポンプ B3級(吾田分団第4部)を配備
 - 12月 ・消防団(細田分団第1部)格納庫を大幅増築し、コミニティーセンターとして竣工
- 平成 2年 3月 ・消防訓練場ならびに訓練塔(A 塔・B 塔・C 塔)竣工
 - ・消防団拠点施設敷地(飫肥分団第5部:80.8 m²)を購入
 - 9月 ・18日に19号、29日に20号、10月7日に21号と台風が相次いで来襲し、 大きな災害をもたらしたが、前年に培った教訓を充分発揮し、その功績を 称えられ、前年度に引き続き、宮崎県知事表彰(消防団)を受賞
 - 10月 ・災害非常時の難聴地域解消のため防災用サイレン(星倉地区)を設置
 - ・40 m 防火水槽(下方)を設置
 - ・20 m³防火水槽 4 基(中ノ八重、中隈谷、富土、石束)を設置
 - 11月 ・消防ポンプ自動車 CD-I型(消防署)、小型動力ポンプ付積載車(東郷4部) を配備
- 平成 3年 3月 ・消防団拠点施設(飫肥分団第5部)を増築
 - 10月 ・第7回婦人消防操法大会(横浜市:酒谷10区婦人消防隊)に出場
 - ・消防ポンプ自動車 BD-I型(酒谷分団第1部)、小型動力ポンプ B3 級(細田分団第7部)、小型動力ポンプ付積載車(東郷分団第3部、細田分団第4部) を配備
 - ・40 m 防火水槽(吾田大谷地区)を設置
 - ・20 m³防火水槽 3 基(東郷帰石、飫肥観音、酒谷片頭)を設置
 - ・東郷分団第5部にコミュニティーセンターを竣工
- 平成 4年 4月 ・北郷町の常備消防業務を受託
 - ・消防吏員 11 名採用 条例定数を 71 名に改正

- 5月 ・油津港にて宮崎県総合防災訓練を実施
- 9月・第23回宮崎県消防操法大会(小型ポンプの部) 「吾田分団優勝」
- 10月・14日、第13回全国消防操法大会(横浜市:吾田分団)に出場
 - ・消防ポンプ自動車 BD- I 型(吾田分団第3部)、小型動力ポンプ B3級(細田分団第6部、鵜戸分団第2部)、小型動力ポンプ付積載車(東郷分団第1部、鵜戸分団第1部)を配備
 - ・消防団拠点施設(酒谷分団第1部:木造瓦葺二階建て)竣工
 - ・消防団拠点施設(細田分団第7部:待機室)の改善
 - ・40 m³防火水槽 2 基(飫肥新町、細田狭間)を設置
- 平成 5年 4月 ・消防吏員5名採用 条例定数を75名に改正
 - 9月 ・台風 13 号が、消防施設に多大の被害をもたらし、災害復旧事業で対応
 - ・40 m 防火水槽 2 基(飫肥大平、東郷田辺)を設置
 - ・消防ポンプ自動車 BD- I 型(東郷分団第5部)、小型動力ポンプ B3級(細田分団第3部)、小型動力ポンプ付積載車(吾田分団第4部、飫肥分団第4部) を配備
 - ・消防団拠点施設(細田分団第4部、酒谷分団第2部)の改善
- 平成 6年 1月 ・高規格救急車を導入
 - 4月 ・救急救命士国家試験(1名)合格 日南第1号
 - 8月 ・無線、広報器材(日本消防協会より受贈)を配備
 - 10月 ・消防団拠点施設(東郷分団第3部:待機室)の改善
 - ・自家発電装置(消防署)を設置
 - ・保安帽(全消防団員)を支給
 - 11月 ・救急救命士国家試験(1名)合格 総計2名
 - ・40 m³防火水槽 2 基(訓練場、酒谷榎木田)を設置
 - ・水槽付消防ポンプ車(油津出張所)小型動力ポンプ B3 級 (細田分団第 5 部、 鵜戸分団第 1 部)、小型動力ポンプ付積載車 (飫肥分団第 2 部、細田分団第 7 部)を配備
- 平成 7年 1月 ・17日の午前5時46分、淡路島北部沖の明石海峡を震源とする「平成7年 (1995年)年兵庫県南部地震(阪神・淡路大震災)」が発生 地震の規模を示すマグニチュードはM7.3、震度7を観測し、1月31日~ 2月10日の11日間、給水支援のため5t給水車で職員2名を応援派遣
 - 4月 ・救急車(消防署: JA 共済連より受贈)を配備
 - 6月 ・油津港にて日南市総合防災訓練を実施
 - 9月 ・アポロ帽(全消防団員)を支給
 - 11月 ・救急救命士国家試験(1名)合格 総計3名
 - ・放送設備一式(消防本部)を購入
- 平成 8年 3月 ・日南市防災行政無線移動局、携帯局(消防団全車両30台)を設置

- · 40 m 防火水槽 2 基(松永、下隈谷)を設置
- ・小型動力ポンプ B3 級(東郷分団第2部、酒谷分団第4部)、多目的資機材搬 送車(消防署: クレーン付2t トラック)を配備
- ・消防団拠点施設2棟(飫肥分団第2部、細田分団第6部:待機室)の改善

- 平成 9年 3月 ・宮崎県市町村防災行政無線衛星局を設置
 - ・40 m 防火水槽 2 基(板敷、益安)を設置
 - ・小型動力ポンプ B3級(東郷分団第2部、酒谷分団第4部)、消防ポンプ車 BD-I (細田分団第1部)を配備
 - ・消防団拠点施設2棟(東郷分団第2部、酒谷分団第4部:待機室)の改善
 - ・消防団拠点施設(鵜戸分団第4部: RC 造平屋建て)竣工
 - 4月 · 救急救命士国家試験(1名)合格 総計4名

- 平成10年 3月 ・高規格救急車(消防署:安田生命保険相互会社より受贈)を配備
 - ・40 m³防火水槽(毛吉田)を設置
 - ・小型動力ポンプ B3 級(飫肥分団第2部、吾田分団第1部)、消防ポンプ車 BD-I(吾田分団第2部)、小型動力ポンプ付積載車(吾田分団第1部、酒谷 分団第2部)を配備
 - ・消防団拠点施設(細団分団第3部:待機室)の改善
 - ・消防団拠点施設(油津分団第1、第2部)竣工
 - ・日南市消防署油津出張所(RC 造平屋建て)竣工
 - 5月 ・救急救命士国家試験(1名)合格 総計5名
 - 9月 ・27 日、日南市総合運動公園において、自治体消防制度 50 周年記念事業の 一環として日南市消防団活性化運動会を開催

- 平成11年 3月 ・指揮広報車(消防本部:財団法人日本消防協会より受贈)を配備
 - ・指揮車、化学消防ポンプ自動車Ⅲ型、小型動力ポンプ B3 級、船外機付救助 用ゴムボート(消防本部・署)を配備
 - ・小型動力ポンプ B3級(東郷分団第3部)、小型動力ポンプ付積載車(鵜戸分 団第2部、鵜戸分団第4部)を配備
 - ・40 ㎡防火水槽2基(塩鶴、川辺ヶ野)を設置
 - ・西ノ村地区防災用サイレン(無線制御装置付)を設置
 - ・消防団拠点施設(細田分団第5部: RC 造平屋建て)竣工

平成11年 5月 ・救急救命士国家試験(1名)合格 総計6名

- 平成12年 3月 ·空気充填室(消防署)完成
 - 4月 ・水槽付消防ポンプ自動車(消防署:財団法人日本損害保険協会より受贈)を 配備
 - ・消防ポンプ自動車 CD- I 型 (油津分団第2部)、小型動力ポンプ付積載車 (酒 谷分団第4部、細田分団第5部)、小型動力ポンプB3級(酒谷分団第2部) を配備
 - ・船外機付救助用ゴムボート(消防署)を配備

- ・消防団拠点施設(東郷分団第1部: RC 造平屋建て)竣工
- · 救急救命士国家試験(1名)合格 総計7名
- ・40 ㎡防火水槽2基(福谷、脇ヶ浜)を設置
- 7月 ・発電機及び投光器一式(飫肥分団、東郷分団、酒谷分団、鵜戸分団)を配備
- 8月 ・第 27 回宮崎県消防操法大会(小型ポンプの部) 「酒谷分団準優勝」
- 10月 ・空気呼吸器(消防署:3体)を整備
- 12月 ・消防ポンプ自動車 CD- I 型(消防署: 4号車、飫肥分団第3部)、小型動力ポンプ付積載車(細田分団第3部、細田分団第6部)、小型動力ポンプB3級(飫肥分団第4部、第5部)を配備
- 平成13年 3月 ・40 m³防火水槽2基(富土、楠原)を設置
 - ・消防団拠点施設(鵜戸分団第1部: RC 造平屋建て)竣工
 - 4月 ・消防団の現勢

分団部	定員	実 員	消 防 ポンプ車	小 型 ポンプ	積 載 車
7分団 30 カ部	798名	798名	10 台	21 台	21 台

- ・救急救命士国家試験合格(1名) 総計8名
- 10月 ・小型動力ポンプ付積載車 B3級(東郷分団第2部、酒谷分団第3部)を配備
- 12月 ・消防ポンプ自動車 CD-I型(油津分団第1部)を配備
 - ・林野火災用動力噴霧器一式(消防署)を配備
- 平成14年 1月 ・消防 OA システム(警防救急システム)導入
 - •消防指令室空調非常電源(消防署)設置
 - 2月 ・小型動力ポンプ付水槽車Ⅱ型(消防署:2号車)を配備
 - 3月 · 40 m 防火水槽 2 基(種子田、上方)を設置
 - ・消防団拠点施設(飫肥分団第4部: RC 造平屋建て)竣工
 - 4月 ・救急救命士国家試験(1名)合格 総計9名
 - 8月 ・エアーテント(消防署)を購入
 - 11月 ・消防ポンプ自動車 CD-I型(飫肥分団第1部)、小型動力ポンプ付積載車(飫肥分団第5部、東郷分団第4部)を配備
- 平成15年 3月 ・高規格救助工作車Ⅱ型(消防署)を配備
 - ・消防団拠点施設(東郷分団第4部:耐火建物平屋建て)竣工
 - ・防火水槽 40 m³ 2 基(酒谷桜馬場、吾田隈谷団地)を設置
 - 4月 ・消防団の現勢

分	团	_	旦	中	旦	消	防	小	型	往 #	#
部	,	定	員	実	員	ポン	プ車	ポン	ノプ	積 載	車

7 分団 30 カ部	798 名	793 名	10 台	21 台	21 台
---------------	-------	-------	------	------	------

- 5月 ・救急救命士国家試験(1名)合格 総計10名
- 9月 ・女性消防団員(10名)入団式
- 10月 ・26日、王子製紙グランドにおいて、自治体消防制度 55 周年記念事業の一環としてレクリェーション大会(運動会)を開催
- 11月 ・救急救命士国家試験(1名)合格 総計11名
 - ・高規格救急車(消防署:合計3台)を配備
- 12月 ・消防団拠点施設(細田分団第7部: RC 造平屋建て)竣工
 - ・条例定数を76名(県防災救急へリ派遣要員1名増員)に改正
- 平成16年 3月 ・消防庁長官より優良消防団として表彰旗を拝受
 - ・日本消防協会より優良消防団として表彰旗を拝受
 - ・高機能消防指令センターの竣工
 - 4月・消防職員2名(うち救急救命士1名、退職者1名、県防災救急へリ派遣要員1名)採用
 - 救急救命士 総計 12 名
 - ·女性消防団員(5名)入団
 - ・消防団の現勢

分	定員	実 員	消 防 ポンプ車	小 型 ポンプ	積 載 車
7 分団 30 カ部	798名	798 名	11 台	21 台	21 台

- 10月 ・宮崎県防災救急航空隊要員を1名派遣
- 12月 ・消防団拠点施設(酒谷分団第3部: RC 造平屋建て)竣工
- 平成 1 7年 2月 · 消防団地域活動表彰(東京都)受賞
 - 宮崎県防災救急航空隊運用開始
 - 3月 ・災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車Ⅱ型(消防署)を配備
 - 5月 ・救急救命士国家試験(1名)合格 総計13名
 - 11月 ・消防団拠点施設(鵜戸分団第3部: RC 造平屋建て)竣工
- 平成18年 2月 ・消防ポンプ自動車 CD-I型(鵜戸分団第3部)を配備
 - 4月 ・消防団の現勢

分 部	定員	実 員	消 防 ポンプ車	小 型 ポンプ	積 載 車
7 分団 30 カ部	798名	795 名	11 台	21 台	21 台

- ・救急救命士国家試験(1名)合格 総計14名
- 8月 ・NS 超強力ライト 30 基(消防団:(株)中村消防防災より受贈)を配備
 - 救急救命士気管挿管認定証(1名)取得
- 平成18年10月 救急救命士薬剤投与認定証(1名)取得
- 平成19年 3月 ・高規格救急車(消防署)を配備
 - 5月 · 救急救命士気管挿管認定証(1名)取得
 - 6月 · 救急救命士国家試験(1名)合格 総計 15名
- 平成20年 3月 ・消防ポンプ自動車CD-I型(消防署)を配備
 - 4月 ・救急救命士国家試験(1名)合格 総計16名
 - 11月 ・高規格救急車(消防署)に配備

(2) < 旧北郷町>

- 昭和23年10月 ・消防組織法施行に伴い、北郷村消防団設置条例が設定され新制度の消防団 が発足
- 昭和25年 1月 ・北郷中学校少年消防隊を発足
- 昭和26年 3月 ・成績優秀により消防庁長官表彰旗を拝受
- 昭和32年10月 ・宮崎県操法大会(ポンプ車の部):「優勝(1回目)」
 - 3月 ・成績優秀により消防本部長章を受章
- 昭和33年 2月 ・成績優秀により日本消防協会長表彰旗を拝受
 - 10月 ・宮崎県操法大会(ポンプ車の部):「優勝(2回目)」
- 昭和34年 1月 ・町制施行により北郷町消防団に改称
 - 10月 ・宮崎県操法大会(ポンプ車の部):「優勝(3回目)」
- 昭和36年 3月 ・成績優秀により消防庁長官表彰旗を拝受
- 昭和47年 4月 ・救急業務を開始
- 昭和48年 7月 ・北郷町消防団ラッパ隊を発足
- 昭和50年 3月 ・北郷中学校、日本消防庁長官表彰を受章
 - ・北郷中学校少年消防隊、表彰旗を拝受
- 昭和52年 3月 ・消防庁舎竣工
- 平成 4年 4月 ・旧日南市へ消防事務・救急業務委託
- 平成 7年 4月 · 防災行政無線開局(H8 年 戸別受信機設置)
- 平成 8年 3月 ・宮崎県消防大会(ラッパ隊):「優勝(1回目)」
- 平成13年11月 ・平嶋元団長、消防功績により勲五等瑞宝章を受章
- 平成15年 3月 ・宮崎県消防大会(ラッパ隊):「優勝(2回目)」
- 平成18年 5月 ・平良前団長、消防功績により瑞宝双光章を受章

(3) < 旧南郷町>

・南郷村を4区域に分割 明治44年 第1部 目井津 第2部 津屋野、谷之口、上中村 第3部 潟上、脇本 第4部 外浦、贄波 大正 3年 村より消防法被、支給服装を配備 各組に腕用ポンプ1台を配備 大正 8年 外浦地区で大火発生 昭和 4年 ・手引ガソリンポンプ(第1部目井津、第4部外浦)を配備 昭和 5年 ・婦人消防隊(第4部外浦)を結成 ・消防組員 600 名 (第5部栄松、第6部下中村) が発足 昭和10年 手引ガソリンポンプ3台、腕用ポンプ4台を配備 ・フォード三輪消防ポンプ(第1部目井津)を配置 昭和11年 昭和12年 4月 ・防空法により防護団が結成され、従来の消防組と合併し、警防団が誕生 昭和18年 ・消防自動車(第1部目井津)を配備 手引ガソリンポンプ2台、腕用ポンプ5台を配備 昭和23年 7月 ・消防組織法が施行、警防団が改組され自治体消防団が発足 ・第7部(贄波)、第8部(津屋野、谷之口)が発足 ・各部に消防後援会と町消防後援会が発足 団員数 700 名 昭和25年 ・可搬式小型動力ポンプが出現 昭和28年 ・消防自動車2台、小型動力ポンプ4台、腕用ポンプ7台を配備 ・消防自動車2台、小型動力ポンプ9台、腕用ポンプ2台を配備 昭和30年 ・ポンプの動力化で常時出動可能な団員(定員は 455 名)を選出 昭和31年 4月 ・榎原村との分村合併があり、榎原中講・下講を9部、上講を10部又九州造 船社宅を第 11 部として編成(団員 550 名) 昭和33年 ・上水道の完成により目井津、下中村、栄松、外浦の住宅密集地に消火栓を 設置 ・小型動力ポンプ2台、自動車ポンプ1台を配備 昭和46年 昭和47年 ・警鐘台(第3部大牟礼)を建設 ・消防格納庫(第5部栄松:10坪耐火構造)を新設 ・盛夏服(新入団員全員)を貸与 昭和48年 ・第5部(栄松)と第11部(九州造船社宅)を統合 消防団定員 395 名 ・小型ポンプ車(第2部上中村)を配備

· 40 m 防火水槽 2 基(第6部下中村)を設置

・消防格納庫(第8部谷之口:7.5坪耐火構造)を建設

- 積載車(10部上講)を配備
- 昭和49年
- ・アルミックス製防火衣(消防団:小型ポンプ1台に付き2着、自動車ポンプ 1台に付き4着の合計50着)を貸与
- ・水防倉庫(谷之口と下講)を統合
- ・指揮車(消防団本部)を配備
- ・積載車(第5部栄松)を配備
- 昭和50年
- ・小型動力ポンプ(第3部脇本格納庫:38馬力)を配備
- ・小型積載車(消防団本部)を配備
- 昭和51年
- ・積載車(第2部上中村)を配備および格納庫を新設
- ・20 m³防火水槽(第3部潟上下)を設置
- ・20 m³防火水槽2基(第8部谷之口)を設置
- ・警鐘台兼ホース掛(第5部栄松)を設置
- 昭和52年
- ・50 m³有蓋防火水槽(第4部外浦)を設置
- ・40 m³有蓋防火水槽(第8部津屋野)を設置
- ・20 m³有蓋防火水槽(第9部榎原中講)を設置
- ・消防格納庫(第7部贄波:コンクリートブロック造)を新設
- 昭和56年
- ・小型動力ポンプ(第3部潟上下、第9部下講)を更新
- ・40 m³有蓋防火水槽(第2部上中村宮越地区)を設置
- 昭和57年
- ・消防格納庫(第3部潟上下:コンクリートブロック造)を新設
- ・小型動力ポンプ車(第4部外浦)を配備
- ・40 m3有蓋防火水槽(栄松保育所横)を設置
- 昭和58年
- ・積載車(第3部潟上下)を配備
- ・小型動力ポンプ付き積載車(第8部津屋野:消防協会より受贈)を配備
- ・小型動力ポンプ付き積載車(3部潟上下・潟上中、10部上講)を配備
- ・消防格納庫(第8部津屋野:コンクリートブロック造)を新設
- 昭和59年
- ・消防格納庫(第9部下講:コンクリートブロック造)を新設
- ・小型動力ポンプ付き積載車(中央町)を更新
- ・小型動力ポンプ付き積載車(第3部潟上中)を更新
- ・40 ㎡防火水槽 (第3部潟上大久保団地)を設置
- 昭和60年
- ・小型動力ポンプ付き軽積載車(県内初:1部目井津地区)を配備
- ・積載車(第9部下講)を配備
- ・消防防災無線(移動系)を設置
- ・20 m³防火水槽(第9部下講)を設置
- 昭和61年
- ・小型動力ポンプ車(第5部栄松、第7部贄波)を配備
- ・小型動力ポンプ車(団本部:日本損害保険協会より受贈)を配備
- ・消防格納庫(第3部脇本:コンクリートブロック造)を新設
- ・20 m 防火水槽(第8部谷之口)を設置
- ・指揮車(団本部)を更新

- 昭和63年・幼年消防クラブ発足
- 平成 元年 ・消防団を分団制に改組し、3分団制による活動を開始

(4) <新日南市>

平成21年 3月 ・日南市、北郷町、南郷町が合併し、新日南市誕生

4月 ・消防団の現勢

分部	団	定	員	実	員	消 ポン	防プ車	小型動力 ポンプ付積載車
14 分	· 	1, 40	16.夕	1 20	88名		台	41 台
54 ケ	部	1,40	70 24	1, 30	00 2	19		41 🖂

平成22年 1月 ・防火水槽(北郷山仮屋区)を設置

2月 ・消防団拠点施設(南郷第1分団第5部:平屋建て)竣工

3月 ・水槽付消防ポンプ自動車(飫肥出張所:南郷出張所予定分)を配備

- ・小型動力ポンプ付積載車(南郷第3分団脇本区、大牟礼区、南郷第2分団上 講区)を配備
- ・小型動力ポンプ付軽積載車(南郷第3分団大迫区、第2分団札之尾区)を 配備
- 4月 ・宮崎県防災救急航空隊要員を1名派遣
 - ・救急救命士国家試験(1名)合格 総計17名
 - ・消防吏員9名採用(うち救急救命士3名)
 - ・総員84名(うち救急救命士20名)条例定数86名
- 10月 · 消防団拠点施設(鵜戸分団第2部)格納庫増設
- 平成23年 3月 ・消防ポンプ自動車(酒谷1部)、小型動力ポンプ付積載車(東郷3部、細田 4部)、水槽付消防ポンプ車(鵜戸分団、酒谷分団)を配備
 - ・11 日の 14 時 46 分、太平洋三陸沖を震源とする「平成 23 年(2011 年) 東北 地方太平洋沖地震(東日本大震災)」が発生

地震の規模を示すマグニチュードはM9.0、最大震度7を観測した、日本の 観測史上最大規模の地震

- ・緊急消防援助隊発動により職員3名(3号車:岩手県陸前高田市)を派遣
- ・消防団拠点施設(酒谷分団第2部:平屋建て)竣工
- ・飫肥・油津出張所を廃止し、同地区に消火栓ボックス 92 カ所を設置
- ・南郷第1分団第12部を廃部
- 4月 ・北郷出張所新築開設(事業費 145 百万円)、南郷出張所改築開設(事業費 45 百万円) 両出張所にそれぞれ水槽付消防ポンプ車・高規格救急自動車を配備
 - •消防吏員2名採用

- · 救急救命士国家試験(1 名)合格 総計 21 名
- 10月 ·全国女性消防操法大会(横浜市)出場
- 12月 ・消防ポンプ自動車(吾田分団第3部)を配備
- 平成24年 1月 ・小型動力ポンプ付積載車(鵜戸分団第1部、東郷分団第1部)を配備
 - 3月 ・小型動力ポンプ付積載車(南郷2部)、資材運搬車(消防署:8号車)を配備
 - •消防団拠点施設(南郷分団第11部)竣工
 - 4月 ・救急救命士国家試験(1名)合格 総計22名
 - ・宮崎県ドクターへリ運用開始
 - 12月・小型動力ポンプ付積載車(飫肥分団第4部、吾田分団第4部、南郷第2分団第9部、南郷第3分団第7部)を配備
- 平成25年 3月 ·消防団拠点施設(飫肥分団第5部)竣工
 - ・新消防庁舎(日南振徳商業高等学校跡地)建設着工
 - ・消防救急拠点施設通信指令システム(高機能消防指令センターおよび 消防救急デジタル無線)整備事業着手
 - ・救急救命士国家試験(1名)合格 総計23名
 - ・北郷第2分団第11部を廃部
 - 4月 ・宮崎県防災救急航空隊要員を1名派遣
 - 11月 ・小型動力ポンプ付積載車(榎原分団第3部)を配備
- 平成26年 1月 ・40 m 防火水槽(北郷:田代地区)を設置
 - 3月 · 日南市消防団車両再編計画策定
 - ・酒谷分団第3部と第4部を統合
 - ・北郷第3分団と第4分団を統合
 - ・上講と札之尾(南郷第2分団第10部)を統合
 - ・和田と脇本(南郷第3分団第3部)を統合
 - ・大迫と大牟礼(南郷第3分団第3部)を統合
 - ・贄波と夫婦浦(南郷第3分団第7部)を統合
 - · 救急救命士国家試験(1名)合格 総計24名
 - · 新消防庁舎竣工

日南市大字殿所 2026 番地 9 (敷地面積:11, 369.07 m²)

庁舎棟:鉄筋コンクリート一部鉄骨造、2階建、3,136.07 m²

主訓練棟:鉄筋コンクリート造、5階建、550.30 m²

副訓練棟: 鉄骨造、3 階建、81.48 m²

- 4月 ・新消防庁舎および常備消防救急デジタル無線運用開始
 - ・消防吏員1名(退職者1名)採用
 - ・宮崎県ドクターカー運用開始
- 11月 ・小型動力ポンプ付積載車(北郷大藤分団第1部、飫肥分団第2部、細田分団第7部)を配備
 - ・消防ポンプ自動車(消防署)を配備

- 12月・消防ポンプ自動車(東郷分団第5部)を配備
 - 2月 ・化学消防ポンプ自動車(消防署)を配備
 - ・消防ポンプ自動車(細田分団第1部: 国無償貸付車)を配備
 - 3月 ・消防団拠点施設(南郷潟上分団第3部)竣工
 - 教命士国家試験(1名)合格 総計24名
- 平成27年 4月 ·消防吏員2名(退職者2名)採用
- 平成28年 2月 ・高規格救急車(消防署)を配備
 - 3月 ・救命士国家試験(1名)合格 総計26名
 - 4月 ・緊急消防援助隊派遣(熊本地震)熊本県益城町ほか 4/14~4/26 救急車1台(3名)×4次派遣
 - 7月 ・AED (市内のコンビニエンスストア 20 店舗) を設置
 - 12月 ・小型動力ポンプ付積載車(北郷郷之原分団第2部)を配備
- 平成29年 2月 ・消防救急デジタル無線機70基(消防団)を配備
 - ・消防ポンプ自動車(北郷郷之原分団第3部)を配備
 - 3月 ・軽デッキバン小型ポンプ付積載車(日南初:北郷北河内分団第3部)を配備
 - ・消防団拠点施設(東郷分団第2部:松永)竣工
 - · 救命士国家試験(1名)合格 総計27名
 - 7月 ・緊急消防援助隊派遣 (九州北部豪雨災害) 大分県中津市ほか 7/5~7/11 救急車1台(4名)×2次派遣
 - 8月 ・消防団拠点施設 (細田分団第1部:大堂津) 竣工 ※大堂津避難タワーとの複合施設
 - 12月 ・小型動力ポンプ付積載車(吾田分団第1部、吾田分団第2部、酒谷分団第2部、南郷中央分団第1部)を配備
- 平成30年 3月 救命士国家試験(1名)合格 総計28名
 - 11月 ・消防団拠点施設(榎原分団第4部:榎原丙)竣工
- 平成31年 3月 · 救命士国家試験(1名)合格 総計29名
 - ・消防ポンプ自動車(北郷大藤分団第2部)を配備
 - ・小型動力ポンプ付積載車(鵜戸分団第4部)を配備
 - 4月 ・消防吏員5名(退職者4名)採用
 - 11月 ・救急普及啓発広報車(消防署)を救急振興財団から寄贈配備
- 令和 2年 1月 ・救助用資機材搭載型小型動力ポンプ自動車(油津分団第2部)を総務省消防庁から無償貸与配備
 - 2月 ・防災学習指導車(消防署)を日本消防協会から寄贈配備
 - 3月 ・小型動力ポンプ付水槽車(5 t)(消防署)を配備
 - 4月・消防吏員1名(退職者2名)採用

4月 ・消防団の現勢

分 団	定員	実 員	消 防 ポンプ車	小型動力 ポンプ付積載車
13 分団 49 ヶ部	1,080名	1,061名	12 台	37 台

・機能別団員を創設

分	団	定	員	実	員
細	田	10 10		.0	
鵜	江	10 8		8	
酒	谷	1	0		7
北郷北	2河内	1	0		4
榎	原	1	0	1	.0
5分	· 可	50	名	39	名

- ・北郷北河内分団第3部と第4部を統合
- ・榎原分団第1部と第3部を統合
- ・小型動力ポンプ付積載車(細田分団第5部)(細田分団第6部)を配備

組織

6 消防本部・消防署・出張所の位置・構造

	名	称		所	在	地	構	造	面 積 (m²)	竣工年月
消	防	庁	舎				鉄筋コンクリート一部	鉄骨造2階建	3, 136. 07	H26. 4
主	訓	練	棟	日南	市大字	殿所	鉄筋コンクリー	ト造 5階建	550. 30	H26. 4
副	訓	練	棟	20	26番地	19	鉄骨造 3階類 11,369		81. 48	H26. 4
北	郷	出張	所	日南 郷之原	雨市北鄉 瓦乙160		敷地面積 3, 鉄筋コンクリ		476.00	Н23. 3
南	郷	出張	所		京南郷町 8番地2		敷地面積 3, 鉄筋コンクリート		999. 20	Н23. 3

7 歴代消防長

就任・退任年月日	氏	名	就任・退任年月日	氏 名
S25. 4.19~S26. 8.23	鈴木	義文	H元. 4. 1∼H 3. 3.31	小 玉 吉 春
S26. 8.24~S26.10. 5	赤星	寛 *	H 3. 4. 1∼H 6. 3.31	長尾宗明
S26. 10. 6~S29. 6. 1	松藤	良 三	H 6. 4. 1∼H 9. 3.31	中 村 幸 次
S29. 6. 2~S29. 6.16	添 田	三次郎	H 9. 4. 1∼H12. 3.31	金 丸 勇
S29. 6.17~S30.10.10	安 藤	正人	H12. 4. 1~H14. 3.31	門 分 政 男
S30. 10. 11~S41. 6. 30	野 辺	進	H14. 4. 1∼H16. 3.31	川崎寿郎
S41. 7. 1~S45. 3.31	村 上	義 信 *	H16. 4. 1∼H19. 3.31	井 田 正 則
S45. 4. 1~S46. 3.31	池田	三 郎 *	H19. 4. 1∼H22. 3.31	福山敏夫
S46. 4. 1~S47. 3.31	平 賀	祐 憲	H22. 4. 1∼H24. 3.31	村 田 豊 年
S47. 4. 1~S52. 3.31	村 上	義信	H24. 4. 1∼H27. 3.31	柳 沼 平八郎
S52. 4. 1~S54. 2. 1	川邊	昇	H27. 4. 1∼H31. 3.31	釋迦野明生
S54. 2. 2~S54. 3.31	河 野	禮三郎 *	H31. 4. 1∼R 2. 3.31	田中謙一
S54. 4. 1~S61. 3.31	谷 崎	清	R 2. 4. 1~現在	安 樂 英 二
S61. 4. 1~H元. 3. 31	石 井	一徳		

^{*}印は事務取り扱い兼任

8 日南市歴代消防団長

就任・退任年月日	氏 名	就任・退任年月日	氏 名
S25. 4. 1~S27. 2.20	細 田 実	H 8. 4. 1∼H16.10.31	影 山 一 雄
S27. 4.21~S46. 1.11	竹 田 末 義	H16.11. 1∼H22. 3.31	久 島 祥 敬
S46. 4. 1~S47. 3.31	平 部 典 俊	H22. 4. 1∼H26. 3.31	濱 中 武 紀
S47. 4. 1~S53. 3.31	高 橋 義 夫	H26. 4. 1∼R 2. 3.31	黒 木 新 一
S53. 4. 1~S63. 3.31	中 島 俊 一	R 2. 4. 1~現在	谷口慎二
S63. 4. 1∼H 8. 3.31	羽藤芳信		

9 旧北郷町歴代消防団長

就任・退任年月日	氏 名	就任・退任年月日	氏 名
S23. 10. 1~S48. 3. 31	伊 東 武 信	H 6. 2.12∼H13. 3.31	平 嶋 義 憲
S48. 4. 1~S61. 3.31	加藤源二	H13. 4. 1∼H17. 3.31	平 良 好 照
S61. 4. 1~H 5.12.20	黒 木 武 二	H17. 4. 1~H21. 3.29	荒 武 正 行

10 旧南郷町歴代消防団長

就任・退任年月日	氏 名	就任・退任年月日	氏 名
S 3. 9. 1~S 5. 3.31	崎 村 俊	S31. 9. 1∼H36. 3.31	中村旅一
S 5. 4. 1~S12. 3.31	古 澤 美 水	S36. 4. 1∼H 3. 3.31	畑 田 良 明
S12. 4. 1~S23. 1.31	河 野 宇 市	Н 3. 4. 1∼Н 7. 3.31	松尾博行
S23. 2. 1∼S23. 8.31	高橋萬二	H 7. 4. 1∼H15. 3.31	松田謙一郎
S23. 9. 1∼S26. 8.31	日 高 嘉 正	H15. 4. 1∼H21. 3.29	沼 村 國 勝
S26. 9. 1∼S31. 8.31	倉 尾 昇		

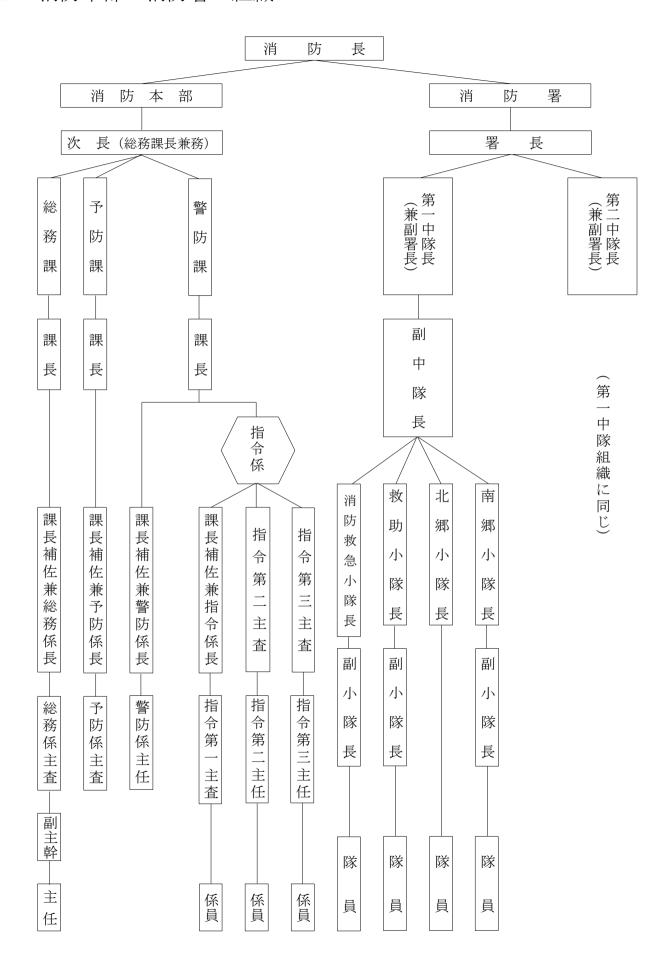
1 消防力の整備指針と当市の現況

(令和2年4月1日現在)

		甘油米	和 <i>七</i> 米		ル 家 (0/)
		基準数	現有数	不足数	比 率 (%)
	指 揮 車	1	1	0	100
	署所	3	3	0	100
施	消防ポンプ自動車	5	5	0	100
	はしご自動車	1	0	1	0
設	化 学 消 防 車	2	1 + (1) * 1	0	100
	救 急 自 動 車	4	4	0	100
	救 助 工 作 車	1	1	0	100
					総数
	基準台数に対する人員	員の基準数(人))	1)	87
人	現有台数に対する人員	員の基準数(人)			64
	通信員の基準数(人)			2	12
	予防要員の基準数(ノ	()		3	14
	庶務の処理等の人員	(人)		4	6
員	現有人員数(人)			(5)	85
	不足人員数(人)	34			
	比 率 (%)	5/(1)+(2+3+4) >	< 100	71

^{*1} 化学消防車に読み代えて配備する消防ポンプ自動車を()内に記載

2 消防本部・消防署の組織



3 消防本部・消防署の事務分掌

総務課

- 総務係 1 総務課の総括に関すること
 - 2 消防本部内の総合調整に関すること
 - 3 消防職員委員会に関すること
 - 4 公印の管理に関すること
 - 5 消防団組織の改編に関すること
 - 6 人事及び組織に関すること
 - 7 消防の総合計画及び調整に関すること
 - 8 条例、規則に関すること
 - 9 本部及び署内の予算編成及び決算に関すること
 - 10 消防長会関係事務に関すること
 - 11 消防職員の公務災害並びに賞じゅつ金に関すること
 - 12 消防職員及び消防団員の貸与品に関すること
 - 13 本部及び署内の予算執行に関すること
 - 14 職員の給与、勤務時間、休日、休暇その他勤務条件に関すること
 - 15 職員の衛生管理及び福利厚生に関すること
 - 16 本部及び署内の庶務に関すること
 - 17 庁舎及び備品の財産管理並びに処分に関すること
 - 18 消防団の運営に関すること
 - 19 消防団施設に関すること
 - 20 消防出初式に関すること
 - 21 消防団の訓練に関すること
 - 22 消防団本部会計に関すること
 - 23 消防団員の公務災害並びに賞じゅつ金に関すること
 - 24 消防職員及び消防団員の表彰に関すること
 - 25 消防団員の福利厚生に関すること
 - 26 宮崎県消防協会南那珂支部の事務に関すること

警 防 課

15

16

17

18

19

警防課の総括及び関係各課との連絡調整に関すること 警防係 所属職員の指揮監督に関すること 3 消防本部車両納入計画及び消防団車両の再編に関すること 水火災の警戒防ぎょに関すること 4 5 自主防災組織に関すること 行方不明者等の捜索に関すること 7 予算編成及び執行に関すること 8 予算・決算に関すること 9 補助事業に関すること 救急研修及び指導体制に関すること 10 メディカルコントロールに関すること 11 ドローン隊発足に関すること 12 消防施設器材整備(救急資器材)に関すること 13 消防施設器材整備(救助資器材)に関すること 14 15 消防本部車両及び機械器具に関すること 消防団車両及び機械器具に関すること 16 国県補助金等に関すること 17 県内指令センター共同化に関すること 18 19 指令台増幅(Net119)導入に関すること 備品管理に関すること 20 21 各種訓練に関すること 22 救助指導会に関すること 緊急消防援助隊に関すること 23 消防水利等に関すること 24 水門・陸こう等に関すること 25 救急業務(救急法指導、各種調査)に関すること 救命率向上AED設置事業に関すること 27 ファイリングに関すること 28 指令係 係の統括に関すること 1 各課及び署の調整事項に関すること 2 3 指令係の定員管理に関すること 事務事業進行管理に関すること 予算編成及び執行に関すること 5 6 指令台及びデジタル無線保守等、他契約全般に関すること 7 各種調査報告に関すること 各種訓練に関すること 8 備品管理に関すること 住基調査・支援情報更新に関すること 10 防災行政無線業務に関すること 11 消防年報に関すること 12 ファイリングに関すること 13 消防指令業務の共同運用に関すること 14 指令台増幅(Net 1 1 9) 導入に関すること

プリンター管理に関すること

ホームページに関すること

無線免許申請・変更に関すること

災害時要援護者登録制に関すること

予 防 課

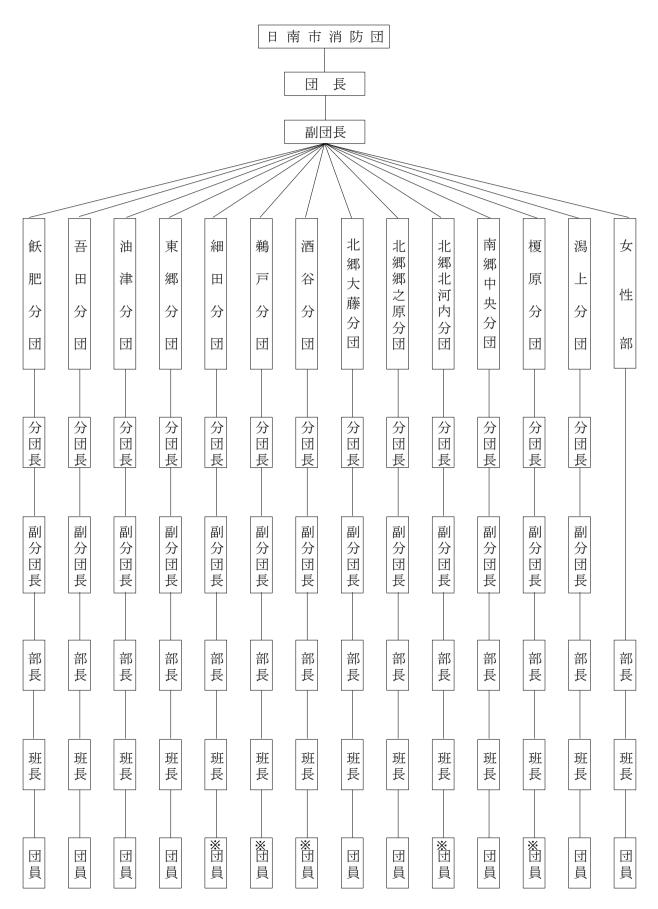
予 防 係

- 1 予防課の総括に関すること
- 2 火災原因及び損害調査に関すること
- 3 火災統計及び損害調査に関すること
- 4 火災予防条例の改正に関すること
- 5 火災予防及び広報に関すること
- 6 予防統計に関すること
- 7 り災証明に関すること
- 8 住宅用火災警報器の設置促進に関すること
- 9 防火対象物及び危険物施設の査察計画に関すること
- 10 建築物等の防火及び予防規制に関すること
- 11 建築同意に関すること
- 12 消防用設備等の指導及び検査に関すること
- 13 違反処理及び違反処理是正の指導に関すること
- 14 枯草調査に関すること
- 15 危険物の規制及び指導に関すること
- 16 危険物取扱者試験前講習及び保安講習に関すること
- 17 油流出調査に関すること
- 18 煙火消費許可及び立入検査に関すること
- 19 幼少年消防クラブに関すること

消防署

- 1 消防署の総括に関すること
- 2 署内の総合調整に関すること
- 3 緊急消防援助隊に関すること
- 4 中隊の総括に関すること
- 5 中隊内の総合調整に関すること
- 6 総合訓練等の計画及び実施に関すること
- 7 署内の勤務編成に関すること
- 8 警防活動に関すること
- 9 諸災害の調査に関すること
- 10 消防署の庶務に関すること
- 11 災害の警備及び予防に関すること
- 12 消防訓練及び指導等に関すること
- 13 消防施設及び機械器具の維持管理に関すること
- 14 消防活動計画に関すること
- 15 予防及び立入検査に関すること
- 16 消防水利及び陸こう・水門の維持管理に関すること
- 17 出動に関すること
- 18 救急業務及び統計に関すること
- 19 救急訓練等に関すること
- 20 救急法指導に関すること
- 21 救急施設及び機械器具の維持管理に関すること
- 22 メディカルコントロールに関すること
- 23 夜間特殊勤務に関すること
- 24 救助業務及び統計に関すること
- 25 救助訓練等に関すること
- 26 救助施設及び機械器具の維持管理に関すること
- 27 救助技術指導会に関すること
- 28 時間外勤務に関すること
- 29 出張所業務に関すること
- 30 その他署長が命令する事項に関すること

4 消防団の組織



5 消防職員の配置

(令和 2年 4月 1日現在)

区分	- 計		内	訳	4万 1日初1
階級		消防本部	本署	北郷出張所	南郷出張所
消防司令長	1	1			
消防司令	4	3	1		
消防司令補	33	11	14	4	4
消防士長	30	9	14	2	5
消防士	16	1	12	2	1
その他の職員	1	1			
≅ †	85				

6 消防職員の勤続年数

(令和 2年 4月 1日現在)

					(行相 2	牛 4月 1	<u> 日現仕)</u>
区分階級	司令長	司 令	司令補	士長	消防士	その他の職員	計
5年未満					10	1	11
5年以上 10年未満				3	5		8
10年以上 15年未満			1	10	1		12
15年以上 20年未満			4	3			7
20年以上 25年未満			9	1			10
25年以上 30年未満			11	10			21
30年以上	1	4	8	3			16
合 計							85

7 消防職員の年齢

(令和 2年 4月 1日現在)

区分階級	司令長	司 令	司令補	士長	消防士	その他 の職員	計
18歳 ~ 25歳					12		12
26歳 ~ 30歳				6	2		8
31歳 ~ 35歳				9	2		11
36歳 ~ 40歳			8	1			9
41歳 ~ 45歳			6	3			9
46歳 ~ 50歳			9	6		1	16
51歳 ~ 55歳		1	4	3			8
56歳 以上	1	3	6	2			12
合 計	1	4	33	30	16	1	85

平均年齢 40.5歳

8 消防職員の特殊技能資格取得状況

(令和 2年 4月 1日現在)

区 分	合 計
大型自動車	72
中型自動車	8
普通自動車	85
救急救命士	29
衛生管理者	2
特殊無線技師	83
小型移動式クレーン	57
玉掛け	72
小型船舶操縦士	36
酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者	25

9 消防団員の年齢別構成

(令和 2年 4月 1日現在)

年齢別	18~20	21~25	26~30	31~35	36~40	41~45	46~50	51~55	56~	平 均年 齢
団員数	1	44	97	134	189	195	158	115	128	42. 5

10 消防団員の定数と実員

(令和 2年 4月 1日現在)

		団	長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員	計 (人)	機能別
定	数		1	4	13	26	49	220	767	1,080	50
実	員		1	4	13	26	49	220	748	1,061	39
	団本部		1	4						5	
	飫肥分団				1	2	5	22	73	103	
	吾田分団				1	2	4	18	78	103	
	油津分団				1	2	2	10	34	49	
н-	東郷分団				1	2	5	22	77	107	
内	細田分団				1	2	6	26	82	117	10
	鵜戸分団				1	2	4	18	44	69	8
	酒谷分団				1	2	3	14	40	60	7
	北郷大藤分団				1	2	3	14	32	52	
訳	北郷郷之原分団				1	2	3	14	46	66	
八百	北郷北河内分団				1	2	3	14	44	64	4
	南郷中央分団				1	2	3	14	65	85	
	榎原分団				1	2	4	18	61	86	10
	潟上分団				1	2	3	14	55	75	
	女性部						1	2	17	20	

[※]機能別消防団員にあっては、実員に含まない。

11 消防団員報酬

(令和 2年 4月 1日現在)

		定員	年 報 酬	総額	その他手当
<u></u>	 長	1	160, 000	160, 000	出動手当 (1回)
副	団 長	4	120, 000	480, 000	4時間未満 1人 2,000円 4時間以上8時間未満 1人 4,000円
分	団 長	13	104, 000	1, 352, 000	8時間以上 1人 6,000円
副分	分 団 長	26	68, 000	1, 768, 000	訓練手当 (1回) 1人 2,000 円
部	長	49	58, 000	2, 842, 000	会議手当 (1回)
班	長	220	33, 500	7, 370, 000	1人 2,000 円
団	員	748	32, 500	24, 310, 000	技術員手当 (年)
	計	1,061		38, 282, 000	車両1台6,000円水槽車1台10,000円 小型ポンプ1台3,000円

予 算

1 令和2年度消防予算の対前年比

歳 入 (単位:千円)

//1/V				(== !
科	I	令和2年度 当初予算額	令和元年度 当初予算額	比較
使用料及	び手数料	958	858	100
国県ラ	支出金	432	623	△ 191
雑	入	54, 067	40, 501	13, 566
市	債	929, 200	378, 200	551,000
言	H	984, 657	420, 182	564, 475

歳 出 (単位:千円)

				(単位・1円)
目	節	令和2年度	令和元年度	比較
	24.	当初予算額	当初予算額	
常備消防費	給料	325, 863	327, 038	△ 1, 175
	職員手当等	216, 674	223, 325	\triangle 6, 651
	共 済 費	116, 370	115, 546	824
	報償費	60	60	0
	旅費	2, 840	3, 793	△ 953
	需 用 費	23, 509	23, 134	375
	役 務 費	9, 458	8, 858	600
	委 託 料	13, 664	13, 278	386
	使用料及び賃借料	3, 458	3, 264	194
	負担金補助及び交付金	4, 210	4, 699	△ 489
	公 課 費	532	491	41
	計	716, 638	723, 486	△ 6848
非常備消防費	報酬	38, 900	43, 866	△ 4966
	共 済 費	23, 073	29, 856	△ 6783
	災害補償費	2, 111	2, 111	0
	報 償 費	45, 600	31, 382	14218
	旅費	21, 604	22, 770	△ 1, 166
	需 用 費	10, 857	9, 921	936
	役 務 費	3, 029	2, 988	41
	委 託 料	53	53	0
	使用料及び賃借料	748	684	64
	負担金補助及び交付金	4, 046	4, 539	△ 493
	公 課 費	884	845	39
	計	150, 905	149, 015	1,890

歳 出 (単位:千円)

				(単位・1円)
目	節	令和2年度	令和元年度	比較
Н	ıاع	当初予算額	当初予算額	11年
消防施設費	需 用 費	4, 170	42, 318	△ 38, 148
	役 務 費	35	26	9
	工事請負費	0	0	0
	備品購入費	143, 842	66, 681	77, 161
	負担金補助及び交付金	5, 600	4, 900	700
	公 課 費	94	156	△ 62
	計	153, 741	114, 081	39, 660
水防費	報酬	0	12	△ 12
	旅費	0	2	\triangle 2
	需用費	651	599	52
	委 託 料	1, 521	1, 398	123
	計	2, 172	2,011	161
災害対策費	報酬	144	144	0
	給料	2, 972	3, 118	△ 146
	職員手当等	2, 706	2,000	706
	共 済 費	489	522	△ 33
	報 償 費	54	54	0
	旅費	132	119	13
	需 用 費	8, 462	7, 338	1124
	役 務 費	6, 288	5, 296	992
	委 託 料	14, 088	13, 135	953
	使用料及び賃借料	804	1,008	△ 204
	工事請負費	443, 300	273, 103	170, 197
	備品購入費	367, 636	428	367, 208
	負担金補助及び交付金	5, 166	13, 198	△ 8,032
	計	852, 241	319, 463	532, 778
合計		1, 875, 697	1, 308, 056	567, 641

2 一般会計に対する消防費の比率 (当初予算) (単位: 千円)

年度	一般会計	消防費	比率	備考
H20	16, 170, 000	710, 876	4. 40%	
21	8, 940, 000	291, 454	3. 26%	暫定予算
22	26, 170, 000	1, 255, 409	4. 80%	
23	25, 680, 000	926, 958	3. 61%	
24	26, 040, 000	1, 042, 779	4. 00%	
25	25, 230, 000	1, 808, 317	7. 17%	
26	26, 710, 000	1, 035, 184	3.88%	
27	26, 110, 000	976, 613	3. 74%	
28	27, 190, 000	984, 991	3. 62%	
29	24, 970, 000	1, 041, 568	4. 17%	
30	25, 360, 000	1, 006, 958	3. 97%	
R元	26, 000, 000	1, 308, 056	5. 03%	
2	27, 430, 000	1, 875, 697	6. 84%	
3				
4				

3 消防費に対する人口及び世帯の負担比較

年度	消防	費	(千円)	人口	1人当負担額(円)	世帯	1世帯当負担額(円)	備	考
H20			710, 876	60, 250	11, 799	23, 630	30, 084		
21				暫定					
22]	1, 255, 409	57, 406	21, 868	23, 723	52, 919		
23			926, 958	56, 759	16, 331	23, 153	40, 036		
24]	1, 042, 779	56, 505	18, 455	23, 413	44, 538		
25]	1, 808, 317	55, 691	32, 470	23, 343	77, 467		
26]	1, 035, 184	56, 829	18, 216	23, 255	44, 514		
27			976, 613	54, 230	18, 009	23, 162	42, 164		
28			984, 991	53, 452	18, 428	22, 473	43, 830		
29]	1, 041, 568	52, 735	19, 751	22, 489	46, 315		
30]	1, 006, 958	51, 959	19, 380	22, 375	45, 004		
R元]	1, 308, 056	51, 290	25, 503	22, 303	58, 649		
2]	1, 875, 697	50, 418	37, 203	22, 122	84, 789		
3									
4									

救急·救助

1 令和元年中の救急概要

令和元年中の救急活動状況は、出場件数が 2,363 件で前年より 61 件増加となりました。 管轄内区別では、本署 1,623 件(前年比+30 件)、北郷 224 件(-8 件)、南郷 516 件(+40 件) の出場となっており、1 日約 6.4 件の割合で救急隊が出場していることになります。

搬送人員は 2,055 人で前年より 68 人の増加となり、管内住民 53,165 人(平成 31 年 3 月 29 日 現在)の約 22.4 人に 1 人が救急隊によって搬送されたことになります。

また、平成24年4月18日から宮崎県ドクターへリの運航が始まり、当市への令和元年度の出場件数は35件で、現場出場が25件、病院間の転院搬送が7件、不搬送が3件でした。

(1) 事故種別の出場状況(前年比)

出場件数 2,055 件のうち急病によるものが最も多く、1,476 件 (-9 件)、次いで転院搬送 326 件 (+20 件)、一般負傷 316 件 (+7 件) の順となっており、救急事故 11 種別中に急病、転院搬送、一般負傷の割合が全体の 89%を占めています。

(2) 年齢区分別搬送人員

医療機関搬送人員 2,055 人のうち新生児 8 人、乳幼児 62 人、少年 49 人、成人 534 人、高齢者 1,402 人の搬送となっており、高齢者の搬送が全体の 68%を占めています。

(3) 医療機関別搬送人員

全体で 2,055 人の救急患者を医療機関へ搬送していますが、このうち 1,571 人 (76%) を管 内救急告示医療機関へ搬送しています。

(4) 転院搬送出場状況

出場 2,363 件のうち 326 件(13%) が転院搬送件数で、転院搬送については、ほとんどが専門医療機関への転院となっています。

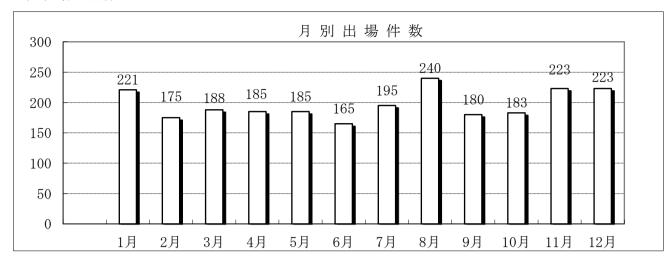
(5) 応急手当講習状況

救急業務において、傷病者の救命率の向上を図るには、救急隊員の応急処置技術の向上及び 救急資機材等の有効な活用とともに、救急現場に居合わせた家族(バイスタンダー)などの的 確な応急手当は不可欠であり、このため住民に対する、応急手当の普及啓発を図ることは極め て重要で、平成7年から規則を制定し普及啓発活動を実施しています。

令和元年度に実施した救命入門コースは 68 回、受講者数は 1,854 人、普通救命講習は 13 回、受講者数は 301 人です。

2 令和元年月別救急出場状況

(1) 管内全体



	月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
月別]出場件数	221	175	188	185	185	165	195	240	180	183	223	223
挽	5送人員	182	156	164	171	164	141	167	212	155	160	183	200
本	出場件数	150	118	124	135	136	116	132	175	115	124	146	151
署	搬送人員	120	102	110	124	122	98	111	150	101	110	122	133
北	出場件数	27	20	13	16	13	15	18	18	21	21	21	21
郷	搬送人員	22	20	11	16	12	13	16	17	17	16	17	21
南	出場件数	44	37	51	34	36	34	45	47	44	38	55	51
郷	搬送人員	40	34	43	31	30	30	40	45	37	34	44	46

	区	分	合計	火災	自然災害	水難	交通	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加害	自損 行為	急病	その他
累	出場	件数	2, 363	1		8	146	25	18	316	6	34	1, 476	333
	不挽	改送	250			1	21		2	27	3	9	181	6
計	搬送	人員	2, 055	1		4	134	25	16	285	3	23	1, 238	326
	死	亡	50			1	1			6	1	4	35	2
傷	重	症	333				21	9	1	66			134	102
病	中等	〕	820			2	30	10	6	86		10	477	199
別	軽	症	858	1		1	82	6	9	133	2	9	592	23
	その	他								·				

(2) 本署管内

	区	分	合計	火災	自然 災害	水難	交通	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加害	自損 行為	急病	その他
旧	出場	件数	1,623	1		2	102	12	14	204	4	27	989	268
日南	不 捎	9 送	250			1	21		2	27	3	9	181	6
)	搬送	人員	1, 403	1		2	89	12	12	181	1	18	823	264
	死	亡	27			1						3	22	1
(塩	重	症	255				14	6	1	44			93	97
傷病	中等	節症	631			1	19	5	5	58		8	344	191
別	軽	症	655			1	63	4	6	100	1	8	450	22
	その	他										·		

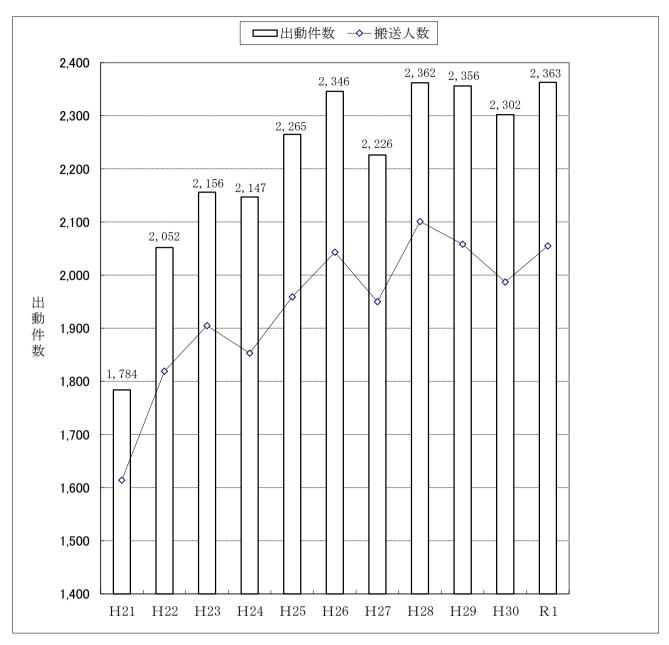
(3) 北郷出張所管内

	区	分	合計	火災	自然 災害	水難	交通	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加害	自損 行為	急病	その他
北	出場	件数	224			1	18	3	1	34		1	156	10
	不携	货送	30				4					1	25	
郷	搬送	人員	198				21	3	1	33			131	9
	死	亡	6										6	
	重	症	34				5	1		9			17	2
傷病者	中等	争症	75				6	2		10			52	5
有	軽	症	78	1			9		2	14			51	1
	その)他								·				

(4) 南郷出張所管内

	区	分	合計	火災	自然 災害	水難	交通	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加害	自損 行為	急病	その他
南	出場	件数	516			5	26	10	3	78	2	6	331	55
	不 挽	送送	42			3	1			4		1	32	1
郷	搬送	人員	454			2	24	10	3	71	2	5	284	53
	死	亡	11				1				1	1	7	1
作	重	症	44				2	2		13			24	3
傷病者	中等	症	114			1	5	3	1	18		2	81	3
有	軽	症	125				10	2	1	19	1	1	91	
	その	他		·			·	·	·			·		

3 平成21年以降の救急出動件数・搬送人員数



	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
出動件数	1, 784	2, 052	2, 156	2, 147	2, 265	2, 346	2, 226	2, 362	2, 356	2, 302	2, 363
搬送人数	1,614	1,819	1, 905	1, 853	1, 959	2, 043	1,950	2, 101	2, 058	1, 987	2, 055
出場件数 前年比	88. 6	115	105	99. 5	105. 4	103. 5	94.8	106. 1	99. 7	97.7	102. 6

4 時間別事故種別出動件数

(件数)

															(什奴)
1	事故種別	火	自	水	交	学	運	_	加	自	急	7	その他		
区分	6	災	然災害	難	通	労働災害	運動競技	般負傷	害	1損行為	病	転院搬送	医師搬送	その他	min.
	計	1		8	146	25	18	316	6	34	1476	326	3	4	2, 363
	0~2	1		2	2			17		3	78	2			105
	2~4			1	1			12	1	1	63	5			84
時	4~6				3			5	1	1	66	1			77
	6~8			1	14			37	1	2	127	7		1	190
間	8~10				11	4	1	37		3	160	40			256
別	10~12				24	5	6	42		3	162	76	1		319
נינע	12~14			1	24	7	5	39	1	1	143	60	2	1	284
内	14~16			1	21	4	4	29		6	141	45			251
	16~18			1	16	2		35		3	133	51		1	242
訳	18~20				17	3	2	22		5	165	20		1	235
	20~22			1	8			25	1	4	113	14			166
	22~24				5			16	1	2	125	5			154

5 時間別事故種別搬送人員数

(人数)

	事故種別 ル 白 水 ☆ 労 運 一 加 白 刍													
区分		火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	計	
	計	1		4	134	25	16	285	3	23	1238	326	2, 055	
	0~2	1		2	1			14		2	66	2	88	
	2~4				1			9		1	48	5	64	
時	4~6				2			4	1	1	57	1	66	
	6~8				14			34		2	99	7	156	
間	8~10				9	4	1	36		3	145	40	238	
	10~12				20	5	6	40		1	138	76	286	
別	12~14				23	7	5	33	1		115	60	244	
th.	14~16			1	23	4	3	28		6	127	45	237	
内	16~18				17	2		34		2	121	51	227	
訳	18~20				11	3	1	20		1	135	20	191	
	20~22			1	8			18		2	92	14	135	
	22~24				5			15	1	2	95	5	123	

6 収容所要時間別搬送人員数

	1	又容所要 時間	10分未満	10分以上	20分以上	30分以上	60分以上	120分以上	計	収容平均 所要時間
120	事故種別	\	10万不间	20分未満	30分未満	60分未満	120分未満	120万以上	(人)	(分)
	急	病		25	296	807	107	3	1, 238	39. 1
	交	通		3	22	93	15	1	134	42. 2
	一般	負傷		2	64	199	17	3	285	39. 9
	その)他		90	169	79	56	4	398	35. 2
	計	-		120	551	1, 178	195	11	2, 055	

7 事故種別傷病程度別搬送人員数

(人数) 事故 火 自 労 加 自 急 水 交 運 そ 種別 働 然 動 般 損 0) 計 災 災 競 負 行 傷病 他 程度 災 害 難 通 害 技 傷 害 為 病 死 亡 2 1 1 1 4 35 44 重 症 9 102 333 21 1 66 134 中等症 2 820 30 10 6 86 10 477 199 軽 症 1 1 82 6 9 133 2 9 592 23 858 その他 計 1 4 134 25 16 285 3 23 1, 238 326 2,055

8 事故種別医療機関別搬送人員数

		救急	语告示	医療	幾関			その)他の)医療	残機関	=			計				
医療機関等	国	公	公	私	的		国	公	公	私	的		玉	公	公	私	的	その他の	合
等	立	立.	的	病院	診療所	計	立	立	的	病院	診療所	計	立	立	的	病院	診療所	の場所	咖
事故種別合計	56	1, 571	4	19	1	1, 651				171	229	400	56	1, 571	4	190	230	4	2, 055
急病	5	948		5	1	959				130	148	278	5	948		135	149	1	1, 238
交通 事故	7	94				101				3	30	33	7	94		3	30		134
一般	4	214	1	1		220				22	42	64	4	214	1	23	42	1	285
その他	40	315	3	13		371				16	9	25	40	315	3	29	9	2	398

9 管内救急告示病院一覧

番号	病院名	経営主体	住所	院長	病 床 数	告示年月日
1	宮崎県立 日南病院	宮崎県	日南市木山 一丁目9番5号	峯 一彦	334床	平成10年7月17日
2	日南市立 中部病院	日南市	日南市大堂津 五丁目10番1号	中津留 邦展	93床	平成24年4月5日

10 救急隊員の行った応急処置件数

事故種別 応急処置	急病	交 通	一般負傷	その他	計
応急処置対象人員 (人数)	1, 237	132	284	394	2, 047
止 血	4	7	18	5	34
固定	10	36	29	15	90
人 工 呼 吸	3	0	1	1	5
心マッサージ	2	0	0	0	2
心肺蘇生	37	1	4	7	49
酸素吸入	258	10	21	131	420
気 道 確 保	53	1	7	13	74
保温	26	2	8	8	44
被覆	4	16	49	12	81
在宅療法	10	0	0	0	10
ショック パンツ	0	0	0	0	0
除細動	1	0	0	0	1
輸液	22	2	5	4	33
薬 剤 投 与	7		1	4	12
その他の応急処置	1, 095	51	199	188	1, 533
血圧測定	1, 165	130	272	340	1, 907
聴診器等	543	70	78	65	756
血中酸素	1, 200	131	275	383	1, 989
心電図	902	44	103	183	1, 232
β刺激薬投与	0	0	0	0	0
静脈路確保	21	2	5	4	32
血糖測定	74	0	4	1	79
エ ピ ペ ン 投与	0	0	0	0	0
ブドウ糖投与	3	0	0	0	3
計 (件数)	5, 440	503	1, 079	1, 364	8, 386

11 事故種別年齡区分搬送人員数

(人数)

					• > • > >							(人毅)
事故種別年齢区分	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	盐
新生児										1	7	8
乳幼児				3			6			41	12	62
少年			1	9		6	6	1		21	5	49
成人			2	70	23	6	54	2	15	278	84	534
高 齢 者	1		1	52	2	4	219		8	897	218	1, 402
計	1		4	134	25	16	285	3	23	1, 238	326	2,055

12 年齡区分別傷病程度別搬送人員数

(人数)

						(八剱)
年齢区分	新生児	乳幼児	少年	成人	高 齢 者	計
死亡				9	35	44
重症	2	2	3	64	262	333
中等症	6	15	12	195	592	820
軽症		45	34	266	513	858
その他						
計	8	62	49	534	1, 402	2, 055

13 現場到着所要時間別出場件数

(件数)

時間		所 要	時 間	区 分	>		現場到着
事故種別	3分未満	3~5分 未満	5~10分 未満	10~20分 未満	20分以上	計	平均所要 時間
急病	6	65	922	444	39	1, 476	9. 1
交 通		4	70	55	17	146	11.8
一般負傷		15	202	87	12	316	9. 4
その他	7	37	306	67	8	425	7. 7
計	13	121	1, 500	653	76	2, 363	

14 事故種別不搬送理由別不搬送件数

(件数)

															<u> (</u>) 十致/
事故種別												その	り他	1	
不搬送理由	火災	自然火災	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	転院搬送	医師搬送	資機材輸送	その他	計
緊急性なし			1	1			5	1	1	4					13
傷病者なし				4				1		5					10
拒 否							1			8					9
酩酊										1					1
死 亡			1				1		6	30					38
現地処置			1	20		2	24	1	4	190				1	243
誤報・いたずら			1	1										3	5
その他												3			3
計			4	26		2	31	3	11	238		3		4	322

15 事故種別転送回数別搬送人員数

(人数)

事故種転送回数	急	: 病	交	通	一般負傷	その他	計
0 E		1, 207		132	278	393	2, 010
1 旦		31		2	7	5	45
2 🗉]						
3 🗉]						
4 E]						
5 E							
計		1, 238 134		285	398	2, 055	

16 傷病程度別転送回数別搬送人員数

(人数)

		1 · · · C · · · //	1/3 3 1/1/1	·/ ///			(人数)
転送回数傷病程度	0 回	1 回	2 垣	3 旦	4 回	5回以上	=
死亡	44						44
重症	315	18					333
中等症	799	21					820
軽症	852	6					858
その他							
計	2,010	45					2,055

17 令和元年中の救助業務概要

(1) 救助隊概要

日南市の救助業務は、日南市消防署に1隊2交替制の救助小隊を配置し、合計 16名の隊員(5名救急救命士)で業務を行っています。

(2) 任務·近況

救助隊員は、火災救助をはじめ、交通事故、水難事故、山岳事故や自然災害による事故、特殊災害対応等あらゆる災害に対し活動を行っています。

また、それらの各種災害に対応するため、高度な救助技術の習得や、強靭な心身の向上など、通常業務時には厳しい訓練を日々行っています。

近年、救助事案は全国的に減少傾向ではあるが、災害が発生してしまうと、都市構造 の高度化、複雑化により、災害の大規模化、活動の長期化が懸念されています。

(3)連携

災害事案によっては、活動現場への進入が困難な場合や、要救助者の搬送に時間を費やす場合があるが、宮崎県防災救急へリコプターの活動により、安全で短時間な隊員の 投入、要救助者の搬送が可能となっています。

また、平成24年4月18日から運航開始した宮崎県ドクターへリコプター及びドクターカーによる医師の現場投入や、災害現場で医師による処置が行えるなど、要救助者に対して高度な医療処置の提供に効果を上げています。

(4)活動の概要

令和元年中の救助活動の大半は交通事故となっており、交通事故の出動件数は全体の60%(全20件中12件)を占めています。このような交通事故救助活動の内容は車両内に閉じ込められ、自力で車外に脱出できないため救助要請されるもので、ドアの解放や挟まっている部分の間隙を作るために油圧救助器具等を活用しての救出方法を行っています。

なお、救助出動件数、活動件数については管轄別救助活動状況に記入してありますので参考にしてください。

18 事故種別救助活動状況

管轄	事故種別	火災	交通事故	水難事故	自然災害	機械による	建物等による	酸欠事故	爆発事故	その他事故	合計
本	出動件数		12	4						4	20
	活動件数		3	1						3	7
署	救助人員		4	1						3	8

19 管轄別救助出動件数

事故種別管轄	交通事故	水難事故	自然災害	機械による	建物等によ	酸欠事故	爆発事故	その他事故	合計
本署	9	1						2	12
北郷	2							1	3
南郷	1	3						1	5

消防水利·機械

1 消防水利施設

(全体)

	区分	防火	水槽	貯れ	k池				消り	と 栓		(土件)
		$40\mathrm{m}^{^3}$	20 m³	$40\mathrm{m}^{^3}$	防火			地	上	地	下	
		以上	5	以上	井戸	プール	海	150mm	150mm	150mm	150mm	
地区別	ı]		40㎡ 未満					以上	未満	以上	未満	合計
飫肥	公設	10	17			4				19	125	175
巨八刀口	私設	1										1
吾田	公設	8	11		1	4				129	225	378
ΤШ	私設	1										1
油津	公設	12	4			3			1	86	128	234
田佳	私設											
東郷	公設	7	13			2				49	80	151
宋郊 	私設	1									2	3
細田	公設	13	19			4				26	87	149
7四 四	私設										1	1
鵜戸	公設	8	12			1					29	50
不同人	私設											
海水	公設	10	16			1					6	33
酒谷	私設											
北郷	公設	66	19			1				5	81	172
一口知	私設											
古伽	公設	46	29			4		1	1	59	142	282
南郷	私設											
公	設	180	140		1	24		1	2	373	903	1624
私	設	3									3	6
合	計	183	140		1	24		1	2	373	906	1630
基準現	個有数	183			1	24		1		373		582

令和2年4月1日現在

*充足率=充足数÷基準数×100

383 \div 874 \checkmark \checkmark \checkmark \checkmark 100 = 43.8%

※ メッシュとは、消防施設整備計画実態調査(令和2年消防庁通知)の定義。

(市街地)

	区分	防火	水槽	貯れ	火池				消り	と 栓	(11	11担地)
		40 m³	20 m³	40 m³	防火			地	上	地	下	
		以上	5	以上	井戸	プール	海	150mm	150mm	150mm	150mm	
地区別	il /		40㎡ 未満					以上	未満	以上	未満	合計
飫肥	公設	4	5			2				18	75	104
巨人刀口	私設	1										1
吾田	公設	6	6		1	4				112	209	338
пЩ	私設	1										1
油津	公設	12	4			3			1	86	129	235
田佳	私設											
東郷	公設											
米州	私設											
細田	公設											
	私設											
鵜戸	公設											
和每人一	私設											
酒谷	公設											
伯合	私設											
北郷	公設											
46%)	私設											
南郷	公設											
用加	私設											
公	設	22	15		1	9			1	216	413	677
私	設	2										2
合	計	24	15		1	9			1	216	413	679
基準現	個有数	24			1	9				216		250

(準市街地・その他)

	区分	防火	水槽	貯れ	k池				消り	<u>、 </u>	打地・そ	V (E)
		40 m³	20 m³	40 m³	防火			地	上	地	下	
		以上	5	以上	井戸	プール	海	150mm	150mm	150mm	150mm	
地区別			40㎡ 未満					以上	未満	以上	未満	合計
飫肥	公設	6	12			2				1	50	71
巨人刀口	私設											
吾田	公設	2	5							17	16	40
υщ	私設											
 油津	公設											
тшт	私設											
東郷	公設	7	13			2				49	80	151
JC/AJ	私設	1									2	3
細田	公設	13	19			4				26	87	149
/үш ра	私設										1	1
鵜戸	公設	8	12			1					29	50
不同ノ	私設											
酒谷	公設	10	16			1					6	33
16/11	私設											
北郷	公設	66	19			1				5	81	172
11/24)	私設											
南郷	公設	46	29			4		1	1	59	142	282
17171	私設											
公	設	158	125			15		1	1	157	491	948
私	設	1									3	4
合	計	159	125			15		1	1	157	494	952
基準現	個有数	159				15		1		157		332

(令和 2年 4月 1日現在)

					(令和 2年 4月 1日現任)
車名	車両	登録番号	登録年月日	ポンプ	備考
	, , ,			級別・型式等	
1 号車	水Ⅱ型2 t	830さ	平成17年 2月18日	吉谷	水槽付消防ポンプ自動車
		2005		A2タービン	日野
2号車	水槽車5 t	830そ	令和 2年 3月30日	シバウラ(可搬)	
	(大型車)	2019	, , ,	B-2級FS500	日野
3 号車	CDI	800さ	平成20年 3月 7日	モリタ	圧縮空気泡消火装置付
		7985	1794=1 1 274 171	A-2級	消防ポンプ自動車 日野
4 号車	CDI	800す	平成26年11月25日	モリタ	圧縮空気泡消火装置付
1 13 -		1741	/// 11/1 10		消防ポンプ自動車 日野
5 号車	水 I 型1.5 t	800は	平成23年 3月31日	GMイチハラ	圧縮空気泡消火装置付
0.74	八十里1.00	862	/3/20 0/101 H	A2タービン	水槽付消防ポンプ自動車 日野
6 号車	水 I 型1.5 t	800は	平成22年 3月31日	GMイチハラ	圧縮空気泡消火装置付
リクチ	/八工主1.0 0	807	1 14人22十 0万 01 日	A2タービン	水槽付消防ポンプ自動車 日野
7 号車	指揮車	80さ	平成23年 3月28日		
1 万平	(普通乗)	9731	+ //X20 + 0/120 H		三菱
8 号車	資機材搬送車	800す	平成24年 3月29日		
0万华	(クレーン付)	272	+ //X24+ 0/120 H		日野
9 号車	火災調査車	さ008	平成13年 2月23日		
3万平	(普通乗)	2261	+ //X10+ 2/120 H		日産
10号車	救助工作車	830す	平成15年 3月17日		
1074	极势工作车	119	+ <i>p</i> x 10+ 0 <i>f</i> 111 d		三菱
11号車	化学車	800は	平成27年 2月19日	モリタ	圧縮空気泡消火装置付
11万平	(中型車)	1083	十,00.21 平 2万 19 日		日野
12号車	防災学習指導車	800す	令和 2年 1月21日		公益財団法人日本消防協会寄贈
12万平	(普通車)	4474	月和 2平 1万21日		トヨタ
救急1	高規格救急車	830さ	平成28年 2月10日		
秋心 1	问別付狄心毕	2016	十八人20年 2月 10日		トヨタ
救急3	高規格救急車	830す	平成19年 3月23日		非常用予備車
次心の	四%1171217131713171171171171717171717171717	99	コールメエタ 十・ 3 万 23 日		トヨタ
救急4	高規格救急車	830す	平成20年10月30日		
	回风竹双心毕	2008	一一次20十10月 30日		トヨタ
救急5	言坦坎	830さ	平成23年 2月25日		
	高規格救急車	2305	一十八八25十 2月 25日		トヨタ
拟	古相牧业名士	830さ	亚比99年 9月95日		
救急6	高規格救急車	2306	平成23年 2月25日		トヨタ
) 声 6/2 士	880あ	亚出90年 9月94月		非常備積載車運用替
	連絡車	563	······· 平成22年 3月24日 ·····		(旧榎原分団第5部車両)
	救急普及	880す	公和		一般財団法人救急振興財団寄贈
	啓発活動車	4383	令和元年11月11日		日産
				I	1

(令和 2年 5月 1日現在)

(令和 2年 緊急自動車									平 5月	1日:	<u>現仕)</u>							
			ماد	2,417	.1	ll e	.\ \ .				ء ا،	/牛	.I.	フ		小		
			水槽	消	小 型	化业	救	資	高	指	火	連	小 型	そ		型		
			付付	防	型動	学	助	器	規		災		動	0)		動	小	合
月月	F	属	消	ポ	力 ポ	消防	-53	材	格		<i></i>		力	他	小	力	\ 1 ,	
1)	1	<i>/</i> 国	防		ン	ポ	エ			揮	調	絡	ポン			ポポ	計	計
			ポ	ン	プ 付	ン	<i>11</i> →	搬	救		*		プ	0)	計	ン	н	н
			ンプ	プ	水槽	プ	作	送	急		查		積載	車		プ		
			車	車	車	車	車	車	車	車	車	車	車	両				
3	消防	方本 部								1	1	1			3			3
	消	防 署	1	2	1	1	1	1	2					1	10			10
	北郷	出張所	1						1						2			2
	南郷	出張所	1						1						2			2
	小	計	3	2	1	1	1	1	4	1	1	1		1	17			17
	寸	本 部											1	1	2			2
消	飫	肥 分 団		2									3		5			5
	吾	田分団		1									3		4			4
	油	津 分 団		1									1		2			2
	東	郷分団		1									4		5			5
	細	田分団		1									5		6			6
防	鵜	戸分団		1									3		4			4
	酒	谷分団		1									2		3			3
	小	計		8									22		31			31
	北組	『大藤分団		1									2		3			3
	北郷	郷之原分団		1									2		3			3
団	北郷	北河内分団	1										2		3	1	1	4
	小	計	1	2									6		9	1	1	10
	南组	『中央分団		1									2		3	1	1	4
	榎	原分団											4		4			4
	潟	上分団		1									3		4			4
	小	計		2									9		11	1	1	12
	合	計	4	14	1	1	1	1	4	1	1		37		68	2	2	70

4 非常備消防車両

(令和 2年 5月 1日)

NO	分団	部(格納庫)	車 両	登録番号	登録年月日	燃料	備考
1		1部(鳥居下)	ポンプ車	800さ3976	平成14年11月29日	軽油	
2	飫	2部(板 敷)	積載車	830 > 1402	平成26年11月6日	ガソリン	
3	肥分	3部 (今 町)	ポンプ車	800さ2087	平成12年12月18日	軽油	
4	団	4部(吉野方)	積載車	830す1204	平成24年11月21日	ガソリン	
5		5部(楠原)	積載車	800さ3955	平成14年11月22日	ガソリン	
6		1部(星 倉)	積載車	830す1701	平成29年12月4日	ガソリン	AT車
7	吾田	2部 (戸 高)	積載車	830す1702	平成29年12月4日	ガソリン	AT車
8	分 団	3部 (平 野)	ポンプ車	800す 76	平成23年12月21日	軽油	
9	Ι	4部(隈谷)	積載車	830せ1204	平成24年11月21日	ガソリン	
10	油 津	1部(園田)	ポンプ車	800さ1202	平成12年3月17日	軽油	
11	分 団	2部(園田)	積載車	800す 4451	令和 2年 1月 5日	ガソリン	総務省貸付
12		1部(殿 所)	積載車	800す 118	平成24年1月18日	ガソリン	
13	東	2部(松 永)	積載車	800さ2892	平成13年9月28日	ガソリン	
14	郷 分	3部(益 安)	積載車	800さ9505	平成22年10月21日	ガソリン	
15	団	4部(風 田)	積載車	800さ3956	平成14年11月22日	ガソリン	
16		5部 (甲 東)	ポンプ車	830そ1405	平成26年12月9日	軽油	
17		1部(大堂津)	ポンプ車	800す1836	平成27年2月5日	軽油	総務省貸付
18		3部 (下 方)	積載車	800さ8417	平成28年11月21日	ガソリン	
19	細田	4部(毛吉田)	積載車	800さ9508	平成22年10月21日	ガソリン	
20	分 団	5部(萩之峯)	積載車	830す1905	令和 2年 4月15日	ガソリン	AT車
21		6部(下塚田)	積載車	830さ1906	令和 2年 4月15日	ガソリン	AT車
22		7部 (大 窪)	積載車	830そ1407	平成26年11月5日	ガソリン	
23		1部(吹毛井)	積載車	800す 117	平成24年1月18日	ガソリン	
24	鵜戸	2部(富土)	積載車	800さ9218	平成22年3月23日	ガソリン	
25	分 団	3部(宮浦)	ポンプ車	800さ6579	平成18年2月1日	軽油	
26	,	4部(伊比井)	積載車	830さ1804	平成31年3月8日	ガソリン	AT車
27	酒	1部(桜馬場)	ポンプ車	800さ9734	平成23年3月30日	軽油	
28	谷分団	2部(鯛の子)	積載車	830す2902	平成29年12月6日	ガソリン	AT車
29	寸	3部 (名尾ノ下)	積載車	800さ2890	平成13年9月28日	ガソリン	AT車

5 日南市消防・防災行政無線サイレン制御受信箇所

(1) 日 南(消防無線サイレン箇所)

(1	. /		TT) (11719)	
地	区	No.		設 置 場 所
		1	鳥居下	飫肥1部車庫
飫	肥	2	板 敷	中ノ八重 川﨑宅先
		3	吉野方	崎田公園
		4	大堂津	大堂津支所屋上
細	田	5	毛吉田	細田支所北側(山中)
		6	大 窪	寺村みかん山(山中)
吾	田	7	中央通	市役所屋上
	Щ	8	星倉	星倉随道上
東	郷	9	風 田	日南セメント(東側山中)
米	274)	10	乙東	JAはまゆう東郷支所屋上
		11	種子田	高台の畑 道路脇
酒	谷	12	桜馬場	酒谷神社横
		13	深瀬	深瀬 (山中)
油	津	14	上町	津の峯団地(西側)
1Ш	件	15	梅ヶ浜	油津中学校(校内東側)

(2) 日 南(防災行政無線サイレン箇所)

(2)	日	南(防災	災行政無線サイレン箇所)						
地 区	No.		設 置 場 所						
吾田	0	中央通り	日南市役所						
	1	鶯 巣	鶯巣公民館						
	2	伊比井	伊比井営農研修センター						
	3	富	富土集落センター付近						
	4	小目井	小目井公民館						
鵜戸	5	宮浦	鵜戸支所						
	6	吹毛井	鵜戸公民館						
	7	吹毛井	鵜戸神宮						
	8	小吹毛井	小吹毛井公民館						
	9	大 浦	大浦地区営農研修センター						
	10		県立日南くろしお支援学校						
	11	風田	サンライフ日南						
	12)±X 141	風田交流センター						
東郷	13		東郷分団第4部格納庫						
A MA	14		平山公民館						
	15	平山	平山自治区グラウンド						
	16		老人福祉センター						
	17	益安	日南市衛生センター付近						
吾田	18	平野	松原団地集会場						
	19	木山	木山街区公園						
	20	園田	園田住宅						
	21	梅ヶ浜	梅上区公民館						
油津	22	油津	旧油津保育所						
一個年	23	梅ヶ浜	梅ヶ浜下区公民館						
	24	油津	下東児童遊園						
	25	乙姫町	乙姫ニュータウン						
	26	西町	西町埋立地						
細田	27	下方	下方営農研修センター						
лш ш	28	1 /3	ハマボウ公園(細田川)						

地 区	No.		設 置 場 所
吾田	29	山王	山王国道沿いグラウンド
	30	大堂津	大堂津小学校構内
	31	大堂津	大堂津漁港
細田	32	下方	塩鶴営農センター
	33	大堂津	大堂津公民館
	34	下方	細田塩田跡住宅内緑地
	35	大堂津	大堂津キャンプ場
油津	36	春日	春日地区内公園
東郷	37	平山	丸山地区海岸
鵜戸	38	宮浦	宮浦漁港付近
不同厂	39	富土	富土海水浴場
吾田	40	星倉	星倉第一公園
ΗШ	41	平野	東光寺トンネル付近
東郷	42	殿所	防災公園
吾田	43	中平野	中平野地区市道緑地帯
пШ	44	隈谷	下隈谷公民館
東郷	45	風田	風田神社
不加	46	殿所	殿所地区五叉路付近
	47	上方	上方公民館
細田	48		南那珂森林組合
	49	下方	下方地区県道緑地帯

(3) 北郷(防災行政無線サイレン箇所)

地 区	No.		設 置 場 所
	1	内之田	内之田公民館
大 藤	2	倉 迫	倉迫公民館
	3	大 藤	大藤地区多目的集会施設
	4	立 野	立野集会所
	5	鵜之木	下郷地区活性化センター
	6	郷之原	北郷支所西側駐車場
郷之原	7	中央	中央営農集会施設
	8	常明寺	常明寺営農集会施設
	9	一之瀬	上郷第5部消防車庫
	10	猪八重	猪八重集落入口
	11	坂 元	本河内地区多目的集会施設
	12	昼 野	昼野営農集会施設
	13	平 佐	平佐公民館
北河内	14	宿野	宿野公民館
시다(리 F.)	15	黒荷田	黒荷田公民館
	16	田 代	田代生活改善センター
	17	山仮屋	山仮屋公民館
	18	大戸野	大戸野営農集会施設

(4) 南郷(防災行政無線サイレン箇所)

(4)	南	郷(防災	行政無線サイレン箇所)
地区	No.		設置場所
中央町	J 1	中央町	南郷町総合支所
津屋里	予 2	津屋野	津屋野防火用水地
上中村	† 3	上中村	南郷川堤防敷
津屋里	4	津屋野	津屋野神社
年 生 生	5	伊	津屋野霊園前
	6		細田川堤防敷
上中村	₊ 7	上中村	旧中村保育所
T-,1,4,	8	7.1.4.1	上中村公民館
	9		榎平団地公園
谷之口	10	谷之口	旧谷之口格納庫(谷口宅付近)
71.72	11	41 K. H	南郷川堤防敷(高橋板金裏)
	12	下講	元下講公民館上
	13	I 1117	折生野市道脇 (河野宅付近)
榎原	14	中講	国道220号中構道路敷
12 //	15	I hit	市道田尾須糊川線近傍地
	16	上講	榎原小学校
	17		国道220近傍地(石の元)
札之尾		札之尾	札之尾公民館
□ II. \/d	19	川之口	目井津漁民アパート
目井津		目井津	南郷漁業協同組合
	21		目井津公民館
	22	西町	中央公園
中央町	J 23	++ + m-	水道調整池
	24	中央町	南郷団地公園
	25		市道中央町中通線敷
脇す	z 26 27	脇本	市営脇本住宅団地
			市道脇本平原線近傍地
	28 29	潟上下	潟上地区グラウンド 潟上川堤防敷(波平瀬)
	30	/ / / / / / / / / / / / / / / / / / /	原向公民館の上
	31		大迫研修所
潟	$\pm \frac{31}{32}$	潟上中	
	33	何上丁	ロヶ野集会所 伊崎野研修所
	34		他之久保防火用水近傍地 一位之久保防火用水近傍地
	35	潟上上	市道大牟礼線近傍地
中央町	_	富屋	国道448号中央町道路敷
	37	H /±	忠霊塔 忠霊塔
栄 松		栄 松	南郷中央公民館
/ IV 14	39	/IN IIA	元栄松公民館
	40		潟上川堤防敷
外涯		外浦	元外浦保育所
	42		外浦港湾用地
目井涓		大 島	大島地区格納庫
	11		元贄波公民館
贄	45	贄波	国道448号元贄波道路敷
夫婦派		夫婦浦	夫婦浦公民館上

火災

1 令和元年中の火災概要

(1) 出火件数

令和元年中の出火件数は18件で、昨年の24件より減少しました。 火災種別ごとにみると、建物火災が10件で総出火件数の55%と過半数以上を占め、車両火災2件、その他火災6件がありました。

(2) 火災の損害・死傷者の状況

焼損棟数は 7 棟で焼損床面積は 879 ㎡で前年の約 5 分の 1 の焼損がありました。 損害額は 11,393 千円で前年の 113,693 千円の約 10 分の 1 の損害がありました。 火災による死傷者数は、死亡者 1 名、軽症者が 2 名ありました。

(3) 出火原因

主な出火原因は「不明」を除くと「火入れ」が4件、火を発する器具等(風呂の焚口等)からの出火が3件、ボイラー等が3件、着衣着火が原因の火災が2件ありました。

(4) 時間帯別火災発生状況

火災発生を時間帯別にみると、建物火災は 16 時以降に 7 件発生している。なお、その他火災については日中(8 時~18 時)に 6 件発生しました。

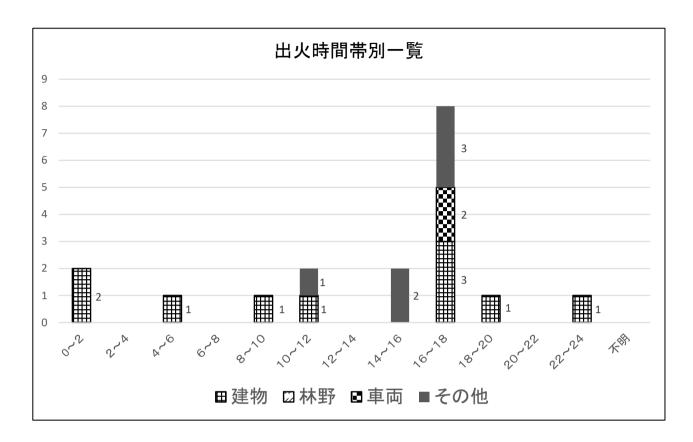
2 令和元年月別火災発生状況

月別 区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
火災件数	3			3	2	1	2		1	3	2	1	18
建物火災	2			1		1	1		1	2	2		10
林野火災													
車両火災							1					1	2
船舶火災													
その他火災	1			2	2					1			6
焼失床面積(m²)	31. 35			124. 61			156		27	15	525		878. 96
焼失表面積(㎡)													
林野(a)													
その他(a)													
損害額(千円)	207			1, 141		200	973			513	7, 159	1, 200	11, 393
建物火災	207			1, 141		200	723			513	7, 159		9, 943
林野火災													
車両火災							250					1, 200	1, 450
船舶火災													
その他火災													
焼 損 棟 数	1			1		1	1		1	2			7
罹災世帯数				1					1	1			3
死 者 数										1			1
負傷者数	1						1						2

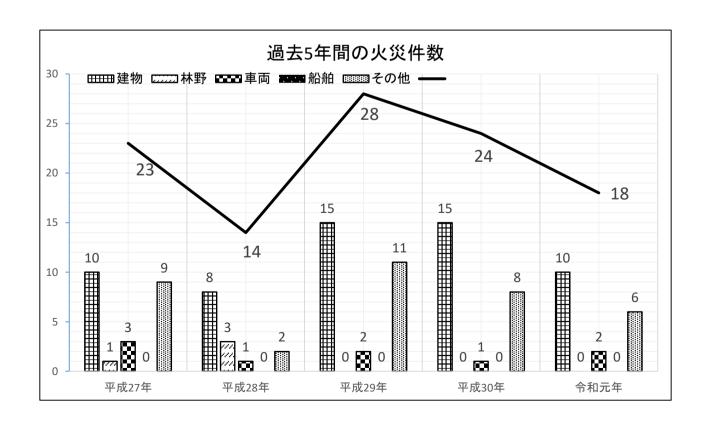
3 令和元年火災発生記録

件	発 生	日時	鎮火	火災		覚知	燃焼	焼失面その	i積 m² 他 a	損害程度	死	負傷	戾	象	状	沥	2	
数	月日	時分	時分	種別	出火地区	方法	時間 (分)	床面積	表面積	林野等は a	者	傷者	天候	風向	風速	湿度	気温	出火原因
1	1月4日	18:30	18:31	建物	郷之原	事後聞知	0:01	I	ĺ	l	I	1	晴	北北西	0	84	12	ライターで着衣 着火
2	1月8日	11:00	12:23	その他	郷之原	火災通報	1:23	Į	ĺ	I]	J	曇	東南東	1	63	8	集塵機の火災
3	1月27日	10:25	11:13	建物	中村乙	119	0:48	31. 35	ĺ	全焼	J	J	晴	北北東	3	44	7	火入れ
4	4月2日	17:45	19:22	建物	吉野方	119	1:37	124. 61	l	全焼	J	J	晴	西北西	3	29	16	薪風呂の煙突
5	4月4日	16:30	16:31	その他	中村乙	事後聞知	0:01]	ſ	1	J	1	晴	南東	3	46	18	ライターで着衣 着火
6	4月9日	17:30	18:20	その他	榎原丙	加入電話	0:50	J	J	J	J	J	晴	北東	2	71	17	火入れ
7	5月13日	14:35	15:11	その他	大堂津	119	0:36	J	J	J	J	J	晴	東北東	5	69	24	不明
8	5月24日	17:20	18:02	その他	酒谷乙	119	0:42	J	J	J	J	J	晴	西北西	3	35	31	火入れ
9	6月24日	9:55	10:08	建物	戸高	加入電話	0:13	J	J	ぼや	J	J	晴	南南西	4	69	26	ボイラー
10	7月4日	17:03	17:52	車両	北河内	119	0:49	J	J	J	J	J	曇	南東	3	87	25	不明
11	7月11日	0:00	4:30	建物	大藤甲	119	4:30	156	J	全焼	J	1	雨	東	0	99	25	燃やした薪の放置
12	9月6日	23:00	23:46	建物	楠原	119	0:46	27	J	部分焼	J	J	晴	南南東	5	97	28	焚口の残り火
13	10月1日	17:59	18:25	建物	中村甲	119	0:26	14	J	部分焼	1	J	晴	東北東	3	92	26	不明
14	10月28日	15:00	15:30	その他	平山	119	0:30	J	J	J	J	J	睛	東	2	73	22	火入れ
15	10月29日	5:00	5:25	建物	伊比井	119	0:25	1	J	ぼや	J	J	晴	北北東	1	98	16	ボイラーからの 飛び火
16	11月7日	1:00	3:05	建物	伊比井	加入電話	2:05	20	Í	部分焼	ľ	J	晴	北西	1	88	12	不明
17	11月10日	19:00	2:00	建物	潟上	119	7:00	505	Í	全焼	ľ	J	晴	北	2	89	15	不明
18	12月13日	16:35	17:28	車両	戸高	119	0:53	J	ĺ	1	Į	J	晴	東南東	2	71	15	不明

4 時間別出火件数



5 過去5年間別火災発生件数



6 平成14年以降の1,000万円以上の損害を出した火災

年 月 日 出火推定時刻	出 火 地 区	焼損概要	原 因	損 害 額 (千 円)
平成14年 3月 8日 14時00分	油津・西町一丁目	住宅2棟全焼	調査中	10, 000
平成14年 5月 9日 4時30分	北郷・北河内	住宅1棟全焼	かまどの不備	23, 335
平成14年 8月21日 18時55分	東郷・益安	住宅2棟全焼 住宅2棟部分焼	提灯の落下	11, 668
平成14年 8月31日 16時40分	東郷・平山	住宅1棟全焼	てんぷら鍋 の放置	17, 985
平成15年 1月14日 8時42分	油津・園田三丁目	木材乾燥機	調査中	13, 539
平成15年 9月22日 18時10分	東郷・平山	住宅1棟全焼 住宅1棟ぼや	調査中	12, 659
平成15年11月30日 16時10分	油津·油津一丁目	住宅2棟全焼 住宅4棟ぼや	てんぷら鍋 の放置	16, 228
平成15年12月 5日 14時50分	吾田・吾田東二丁目	住宅1棟全焼 住宅2棟ぼや	調査中	39, 275
平成16年 3月14日 20時00分	東郷・風田	住宅3棟全焼 住宅1棟部分焼	調査中	27, 733
平成18年 2月16日 8時17分	南郷・外浦	漁船1隻全焼	調査中	69, 000
平成18年11月3日 10時31分	吾田・釈迦尾ケ野	店舗一棟全焼	調査中	16, 329
平成18年11月 5日 8時28分	吾田・吾田西四丁目	店舗一棟半焼	調査中	147, 569
平成23年 8月20日 20時30分	南郷・津屋野	住宅1棟全焼	提灯の落下	12, 714
平成24年 3月18日 22時30分	油津・木山	店舗1棟全焼	不明	56, 441
平成24年 7月13日 19時00分	吾田・戸高	工場1棟部分焼	調査中	63, 816
平成27年12月11日 5時00分	北郷・北河内	豚舎1棟全焼	不明	17, 384
平成28年1月11日 19時42分	北郷・郷之原	店舗1棟全焼	不明	32, 551
平成30年3月2日 21時30分	油津・梅ヶ浜	工場1棟全焼	不明	105, 489
				

累計

8 平成13年以降死者を出した火災

年 月 日出火推定時刻	出 火 地 区	焼損概要	死者数	出火原因
平成13年11月12日 3時00分	東郷・益安	住宅1棟全焼	1	調査中
平成14年12月25日 22時25分	北郷・郷之原	住宅1棟全焼	1	調査中
平成15年 2月 4日 18時40分	飫肥・板敷	住宅1棟半焼	1	調査中
平成15年12月12日 21時00分	吾田・星倉	住宅1棟部分焼	1	着衣着火
平成16年 3月 9日 6時15分	東郷・益安	住宅1棟全焼	2	調査中
平成16年12月26日 18時10分	北郷・大藤	住宅1棟全焼	1	調査中
平成17年2月19日 7時15分	南郷・栄松	住宅1棟半焼	1	放火自殺
平成17年 2月24日 3時20分	東郷・風田	住宅1棟全焼 非住宅1棟全焼	1	石油ストーブからの 出火
平成18年 3月23日 1時20分	鵜戸・宮浦	住宅2棟全焼	1	調査中
平成18年 9月17日 22時57分	南郷・贄波	住宅1棟全焼	1	調査中
平成19年 1月30日 17時29分	酒谷・上永野	住宅1棟全焼	1	てんぷら鍋の放置
平成19年 1月31日 5時45分	飫肥・吉野方	住宅1棟部分焼	1	放火自殺
平成20年 1月5日 5時 8分	東郷・風田	車両1台全焼	1	漏れた燃料にバッテ リーの火花が引火
平成20年 2月10日 7時00分	油津・油津一丁目	共同住宅 1部屋全焼	1	着衣着火
平成21年10月13日 6時17分	細田・塚田	車両1台全焼	1	漏れた軽油にバッテ リーの火花が引火
平成22年 8月14日 2時20分	東郷・松永	住宅1棟全焼	1	調査中
平成23年 1月5日 9時48分	油津・岩崎二丁目	車両1台全焼	1	放火自殺
平成24年 5月29日 3時00分	細田・大窪	住宅1棟全焼	1	不明
令和元年10月 1日 17時59分	南郷・中村甲	住宅1棟部分焼	1	不明

9 過去5年間の原因別出火件数と損害額

(単位:千円)

/ r:	年 平成27年 平成28年 平成29年 平成30年 平 成30年							令和元年		
原因	件数		件数	損害額	件数	成29年 損害額	件数	成30年 損害額	件数	相元年 損害額
	十级	頂古領	十数	頂古領	什奴	頂吉領	十数	頂古領	十级	1月古領
たばこ							1	1,854		
たき火										
火入れ	7	727	3	52	7	64	5	44	4	207
火遊び					1	1				
こんろ	_		_		2	3, 718	1			
放火					1	1, 305	1	2, 556		
放火の疑い										
風呂・かまど					2	2	2	559	2	
ストーブ					2	10				
マッチ・ライター			1	4					2	
煙突・煙道	1	39							1	1, 141
電灯・電話等の配線	2	187	2	23	2	161	1	44		
その他	6	7, 443	2	2	2	280	6	2, 287	3	923
不明・調査中	7	19, 237	6	37, 514	9	16, 142	7	106, 349	6	9, 122
計	23	27, 633	14	37, 595	28	21, 683	24	113, 693	18	11, 393

10 過去5年間の林野火災

区分 年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年
火災件数(件)	1	3	0	0	0
焼損面積(a)	13	11.5	0	0	0
焼損額 (千円)	35	252	0	0	0
一件あたりの焼損面積(a)	13	3.8	0	0	0
一件あたりの焼損額(千円)	35	84	0	0	0

危険物

1 令和元年度の危険物関係及び防火対象物の概要

(1) 危険物関係

令和元年度の危険物施設は163施設で、令和元年度中は設置許可申請が移動タンク貯蔵所1件、移動タンク貯蔵所の転出2件、転入1件ありました。廃止届は地下タンク貯蔵所が1件ありました。なお、当該危険物施設の立入検査につきましては71件実施し、適宜火災予防上の指導を行いました。

危険物の事故等について今年度は発生していませんが、事故等が発生しないように立入検査等 を行い事故防止に努めていきます。

令和元年度内の危険物施設の変更件数は9件で、昨今の危険物施設に多く見られる経年劣化に 伴い、地下タンク貯蔵所のタンク及び配管の腐食箇所等から漏れの可能性があります。今後も事 案発生が予測されますので、継続して危険物施設の維持管理の徹底指導を実施します。

(2) 防火対象物

令和元年度の消防用設備等を要する対象物(棟別)は 1,619 棟あり、消防本部対応 119 棟、消防署対応 213 棟、合計 332 件の防火対象物立入検査を実施しました。

平成18年1月8日の長崎県のグループホーム「やすらぎの里」で発生した火災で死者7名、負傷者3名、更に平成25年2月8日の長崎市の認知症高齢者グループホームで発生した火災で、死者5名、負傷者7名を出す惨事が起きたことなどにより、消防法施行令等が改正され、避難困難者が主として入所する社会福祉施設に対し、原則として延べ面積に関わらずスプリンクラー設備の設置、消防機関へ通報する火災報知設備と自動火災報知設備の連動を義務付ける事となりました。また、上記火災などを受け、ホテル、病院等においても、延べ面積に関わらず自動火災報知設備の設置が義務付けられる事となりました。

平成 28 年 12 月 22 日に発生した新潟県糸魚川市での大規模火災を受けて、令和元年 10 月 1 日より、火を使用する全ての飲食店に消火器の設置及び点検報告が義務付けられました。

また令和元年度、4月に発生したフランスのノートルダム大聖堂の火災及び10月に発生した沖縄県那覇市の首里城跡での火災を受け、国宝・重要文化財等において同様の惨事が生じないよう、国、地方公共団体、所有者等が連携して文化財等の防火対策をより一層推進していくことの重要性が図られました。

さらに、平成30年6月15日に住宅宿泊事業法が施行された後、既存住宅において宿泊施設を営む民泊が増えています。今後も増加が予想されることを踏まえ、不特定多数の方が利用される施設の消防用設備等の設置と維持管理の指導はもとより、違反対象物の是正を図っていかなければなりません。

2 危険物施設状況

(令和2年 4月 1日現在)

	- 가입니			(つ 和 / 1 -	4月 1日現在)
製造原	地区別 所別	日南地区	北郷地区	南郷地区	計
	製 造 所				
	屋内貯蔵所	4		4	8
	屋外タンク貯蔵所	19	4	7	30
	特定屋外タンク	(2)			(2)
貯	準特定屋外タンク			(2)	(2)
蔵	屋内タンク貯蔵所				
所	地下タンク貯蔵所	12	7	3	22
	簡易タンク貯蔵所				
	移動タンク貯蔵所	8	5	2	15
	屋外貯蔵所	2		1	3
	小 計	45	16	17	78
	給油 取扱所	36	7	9	52
	屋内	(2)			(2)
	自家用	(13)	(3)	(2)	(18)
取	船舶	(1)		(2)	(3)
扱	一般取扱所	19	5	5	29
所	移送取扱所				
	第1種販売取扱所			1	1
	第2種販売取扱所	3			3
,	小 計	58	12	15	85
	合 計	103	28	32	163
	事業 所数	48	11	16	75
	* () 内について		ける特殊田冷協製	-	

*()内については、施設内における特殊用途施設

3 危険物類別状況

(令和2年 4月 1日現在)

							(市和2年	1/1 1	H 2011-7
	類別			危 険	物の	種類	į		
製造所	引	第一類	第二類	第三類	第 四 類	第 五 類	第六類	混在	計
	製 造 所								
	屋内貯蔵所				8				8
	屋外タンク貯蔵所				30				30
貯	屋内タンク貯蔵所								
蔵	地下タンク貯蔵所				22				22
所	簡易タンク貯蔵所								
	移動タンク貯蔵所				15				15
	屋外貯蔵所				3				3
	小計				78				78
	給油取扱所				52				52
取	一般取扱所	1			28				29
扱	移送取扱所								
所	第1種販売取扱所				1				1
	第2種販売取扱所				3				3
	小計	1			84				85
	合 計	1			162				163

4 危険物数量別施設数

(令和2年 4月 1日現在)

	倍数別	5	10	50	100	150	200	1,000		10,000	
製造	所別	倍以下	倍以下	倍以下	計						
	製造所										
	屋内貯蔵所	4	3	1							8
	屋外タンク貯蔵所	5	5	10	3	1		4	2		30
貯	屋内タンク貯蔵所										
蔵	地下タンク貯蔵所	10	4	8							22
所	簡易タンク貯蔵所										
	移動タンク貯蔵所	12		3							15
	屋外貯蔵所		2	1							3
	小 計	31	14	23	3	1		4	2		78
	給油取扱所	1	8	13	11	9	2	8			52
	一般取扱所	11	5	9	3			1			29
取扱所	移送取扱所										
	第1種販売取扱所	1									1
	第2種販売取扱所			3							3
	小 計	13	13	25	14	9	2	9			85
	合 計	44	27	48	17	10	2	13	2		163

5 危険物施設の許可申請等処理状況

令和元年度(件)

			ı	ı			ı		ı ıı	和元年月	支(什)
	申請別	設置	変更	完成	検査前	検査	完成	検査		仮貯 蔵	= 1
製造所	所別	許可	許可	水張検査	水圧検査	溶接 部 検査	設置	変更	·仮使用	仮取 扱	計
Ħ.	製 造 所										
	屋内貯蔵所										
	屋外タンク貯蔵所										
	屋内タンク貯蔵所										
貯 蔵 所	地下タンク貯蔵所							1			1
	簡易タンク貯蔵所										
	移動タンク貯蔵所	1	2				1	2			6
	屋 外 貯 蔵 所										
	小 計	1	2				1	3			7
	給油取扱所	1	6				1	6	6		20
	一般取扱所										
取 扱 所	移送取扱所										
	第1種販売取扱所										
	第2種販売取扱所										
	小計		6				1	6	6		20
	仮貯蔵・仮取扱									3	3
	合 計	2	8				2	9	6	3	30

6 危険物規制事務処理状況

7 危険物手数料徴収状況

(令和元年度)

	申請書		件	数	手数料収入額(円)	(令和元年度)_ 計(円)
	.1.141 <u>E</u>		日南地区	95	丁奶们权八限(门)	□I /I 1/
	設置	許可	北郷地区			26, 000
	W.E.	н 1	南郷地区	1	26,000	20,000
			日南地区	5	117, 000	
	変更	許可	北郷地区	1	26, 000	169, 000
			南郷地区	1	26, 000	
			日南地区			
		設 置	北郷地区	1	26, 000	39, 000
	今比松木		南郷地区	1	13, 000	
	完成検査		日南地区	5	52,000	
		変更	北郷地区	1	13, 000	78,000
			南郷地区	1	13, 000	
		`\# \	日南地区	1	11,000	
		溶接部 検査	北郷地区			11,000
手		.,	南郷地区			
数	⇔₽₩ ★	_l, ⊐E	日南地区			
	完成検査 前検査	水 張 検 査	北郷地区			
料		-	南郷地区			
内		_1, 	日南地区			
訳		水 検 査	北郷地区			
			南郷地区			
			日南地区	2	10, 800	
	仮貯蔵	仮取扱	北郷地区	1	5, 400	16, 200
			南郷地区			
			日南地区	4	21, 600	
	仮り	吏 用	北郷地区	1	5, 400	32, 400
			南郷地区	1	5, 400	
	小、目. <i>É</i>	<u> </u>	日南地区			
	少量允 水張水		北郷地区			
			南郷地区			
			日南地区	17	212, 400	
	合	計	北郷地区	5	75, 800	371, 600
			南郷地区	5	83, 400	

予 防

1 防火対象物状況 (消防用設備及び防火管理者を要する対象物)

(令和2年 4月 1日現在) 消防用設 棟 別 防火管 防火管理 備等を要 理者を 者を選任 する対象 要する している 物 対象物 対象物 X. 分 (棟別) イ. 劇場、映画館、演芸場又は観覧場 9 6 6 1 ロ. 公会堂又は集会場 15 16 15 イ. キャバレー、ナイトクラブその他これらに類するもの ロ. 遊技場、又はダンスホール 9 8 8 2 ハ. 風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律に規する 性風俗関連特殊営業を営む店舗 二. カラオケボックス等 1 1 1 イ. 待合、料理店、その他これに類するもの 3 口. 飲食店 58 43 35 百貨店、マーケット、その他物品販売業を営む店舗又は展示場 85 55 52 イ.旅館、ホテル又は宿泊所 87 19 19 ロ. 寄宿舎、下宿又は共同住宅 321 26 33 消 イ.病院、診療所又助産所 56 16 16 防 法 口. 老人短期入所施設 60 46 46 施 6 ハ.老人デイサービスセンター等 行 81 27 25 令 幼稚園、・特別支援学校 6 6 14 别 表 小・中学校、高等学校、大学その他これに類するもの 101 23 22 第 8 図書館、博物館、美術館その他これに類するもの 5 4 4 に イ. 公衆浴場のうち、蒸気、熱気浴場その他これに類するもの ょ 9 ロ. イに掲げる公衆浴場以外の公衆浴場 2 1 1 る 防 10 車両の停車場又は船舶若しくは航空機の発着場 2 火 7 11 神社、寺院、教会その他これに類するもの 4 4 対 象 イ.工場又は作業場 271 14 10 物 12 ロ. 映画スタジオ又はテレビスタジオ イ.自動車車庫又は駐車場 28 13 口. 飛行機又は回転翼航空機の格納庫 倉庫 147 14 前各項に該当しない事業場 15 186 50 45 イ. 複合用途防火対象物のうち、その一部が(1)項から (4)項、(5)項イ、(6)項、又は(9)項に掲げる防火 47 33 27 16 対象物の用途に供されているもの 口. イに掲げる複合用途防火対象物以外の複合用途防火対象物 19 4 3 3 3 文化財施設 17 11 延長50m以上のアーケード 2 計 1,625 411 374

2 令和元年度予防関係諸届出状況

(件)

3 令和元年度月別工事別建築申請処理状況

意 同 種 別 不 指 導 模 新 増 改 修 移 許 用 仮 同 計 件数 途 可 計 様 変更 申 意 月 築 築 築 繕 替 転 設 請 別 4 3 2 5 5 5 5 6 4 4 7 2 3 6 1 8 2 1 3 9 2 2 4 10 2 2 4 11 1 1 12 4 1 1 6 2 1 2 2 3 3 3 4 4 計 35 10 0 2 0 0 47

(件)

4 令和元年度用途別建築申請処理状況表

用	月 別 途	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
713	住宅	1	1	1	3	2	2	2	1	3	2	2	2	22
	併用住宅													
	イ. 劇場、映画館、演芸場又は観覧場													
1	口.公会堂又は集会場													
	イ.キャバレー、ナイトクラブその他これらに類するもの													
	ロ. 遊技場、又はダンスホール													
2	ハ. 風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する 法律に規定する性風俗関連特殊営業を営む店舗													
	二. カラオケボックス等													
2	イ. 待合、料理店、その他これに類するもの													
3	口. 飲食店	1												1
4	百貨店、マーケット、その他物品販売業を営む店舗 又は展示場	1												1
5	イ. 旅館、ホテル又は宿泊所				1									1
5	ロ. 寄宿舎、下宿又は共同住宅													
	イ.病院、診療所又は助産院													
6	ロ. 老人福祉施設、有料老人ホーム、更正施設、 児童福祉施設				1									1
	ハ. 老人デイサービスセンター等		1							1				2
	二. 幼稚園、盲学校、聾学校又は養護学校													
7	小・中学校、高等学校、大学その他これに類するもの													
8	図書館、博物館、美術館その他これに類するもの													
9	イ. 公衆浴場のうち、蒸気、熱気浴場その他これに 類するもの													
	口. イに掲げる公衆浴場以外の公衆浴場													
10	車両の停車場又は船舶若しくは航空機の発着場													
11	神社、寺院、教会その他これに類するもの													
12	イ. 工場又は作業場	1	1				1	1					1	5
12	ロ. 映画スタジオ又はテレビスタジオ													
13	イ. 自動車車庫又は駐車場	1	1	1				1						4
10	ロ. 飛行機又は回転翼航空機の格納庫													
14	倉庫		1	1										2
15	前各項に該当しない事業場			1	1	1	1			1		1	1	7
	イ. 複合用途防火対象物のうち、その一部が(1)項 から(4)項、(5)項イ、(6)項、又は(9)項イに									1				1
16	掲げる防火対象物の用途に供されているもの													
	ロ. イに掲げる複合用途防火対象物以外の複合用途 防火対象物													
17	文化財施設													
18	延長50m以上のアーケード													
20	その他													
	計	5	5	4	6	3	4	4	1	6	2	3	4	47

5 防火対象物の階層別状況

(令和2年4月1日現在)

特別	17	바므미	I	1		1	ı		(行不	口2年4月1	<u>日現任)</u>
帝別表第 1 1		皆曽別 \	3 階	4 階	5 階	6 階	7 階	8 階	9 階	12階	計
1	令別表第	i 1							, –		
T	1	イ	1								1
변경	1	口	1								1
С С		イ									
가	9	口									
1	2	ハ									
3 □ 6 1 7 4 2 2 2 4 5		=									
Parish	0	イ									
5 서 8 1 2 2 13 대 97 57 21 3 4 2 1 185 서 4 3 1 2 4 2 1 185 대 4 1 1 1 4 2 1 7 가 1 1 1 1 4 1	3	口	6	1							7
5 田 97 57 21 3 4 2 1 185 6 대 4 1 1 1 1 7 7 7 7 7 1 </td <td>4</td> <td></td> <td>2</td> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>4</td>	4		2	2							4
日 97 57 21 3 4 2 1 185	-	イ	8	1			2	2			13
6 □ 4 1	5	口	97	57	21	3	4		2	1	185
6 Λ 1		イ	4	3	1	2					10
Л 1		口	4	1	1	1					7
7 35 2 1 38 8 7 9 7 9 10 11 12 14 1 9 13 14 1 1 1 1 1 14 1 1 1 1 34 16 2 1 1 1 1 1 16 2 1 1 1 1 1 16 2 1 1 1 1 1 16 2 1 1 1 1 1 16 2 1 1 1 1 1 17 1 4 4 2 1 1 1 1 18 1 1 1 1 1 1 1 1	6	ハ	1								1
7 35 2 1 38 8 7 9 7 9 10 11 12 14 1 9 13 14 1 1 1 1 1 14 1 1 1 1 34 16 2 1 1 1 1 1 16 2 1 1 1 1 1 16 2 1 1 1 1 1 16 2 1 1 1 1 1 16 2 1 1 1 1 1 17 1 4 4 2 1 1 1 1 18 1 1 1 1 1 1 1 1		二		1							1
9	7		35	2	1						38
9	8										
10 11 11 4 2 2 1 9 12 4 2 2 1 9 13 7 1 1 1 1 14 1 1 1 1 34 16 2 1 1 1 21 16 4 4 2 1 11 11 16 1 1 1 1 1 1 16 2 1 1 1 1 1 16 2 1 1 1 1 1 16 2 1 1 1 1 1 17 1 1 1 1 1 18 1 1 1 1 1	_	イ									
11	9	口									
$ \begin{array}{c ccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	10										
12	11										
12		イ	4	2	2	1					9
13 II <	12										
13 II <	4.0	イ									
15 27 5 1 1 1 1 34 16 16 2 1 1 1 1 1 21 16の2 1 4 4 4 2 1 1 1 1 1 11 16の2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	13										
15 27 5 1 1 1 1 34 16 16 2 1 1 1 1 1 21 16の2 1 4 4 4 2 1 1 1 1 1 11 16の2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	14		1								1
16 2 1 1 1 1 21 21 11 11 11 11 11 11 11 11				5		1	1				
16 日 4 4 2 1 1 11 16の2		イ		2	1			1			
16 <i>O</i> 2	16			4		-	1				
17 18	16の2										
18											
	計		211	81	27	11	8	3	2	1	344

6 日南市幼年少年防火クラブ結成状況

幼年消防クラブ

(令和2年 4月 1日現在)

NO	防火クラブの名称	結成年月日	会員数
1	浄念寺学園おび幼稚園幼年消防クラブ	昭和60.12. 1	23
2	学校法人立正学園 立正幼稚園幼年消防クラブ	平成30. 5.10	31

少年消防クラブ

NO	防火クラブの名称	結成年	三月日		会員数
1	北郷小中学校少年消防隊	昭和25.	4.	1	20





日南市消防本部

₹889-2524

宮崎県日南市大字殿所 2026 番地 9

TEL: 0987-23-1316 FAX: 0987-23-7653

Eメール: <u>shirei@city.nichinan.lg.jp</u> 発刊日(令和2年8月): 警防課 指令係